

官報

號外 昭和九年三月二十三日

第六十五回衆議院議事速記録第二十七號

帝國議會 衆議院議事速記録第二十七號

昭和九年三月二十二日(木曜日)

午後一時十五分開議

議事日程 第二十六號

昭和九年三月二十二日

午後一時開議

第一 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(栗原彦三郎君外十二名提出)

第一讀會

第三 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(江藤源九郎君提出)

第一讀會

第四 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(上原平太郎君外二名提出)

第一讀會

第五 膠州灣舊借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(久山知之君外二名提出)

第一讀會

第六 民事訴訟法中改正法律案(小池四郎君提出)

第一讀會

第七 借地借家調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 小作調停法中改正法律案(牧野賤男君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 刑法中改正法律案(作田高太郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 決議案(高橋大藏大臣ノ責任ニ關スル件)(山道襄一君外二名提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案ニ對スル修正案

提出者 福田 虎龜君 中川 觀秀君

貿易調節及通商擁護ニ關スル法律案ニ對スル修正案

提出者 賴母木桂吉君 小山 松壽君

吉川吉郎兵衛君 谷原 公君

田島勝太郎君 中島彌國次君

内ヶ崎作三郎君 工藤 鐵男君

木槍三四郎君 作田高太郎君

小川郷太郎君 田中 實君

松田竹千代君

小作法案

提出者

(以上三月二十日提出)

一 議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ

京都驛構内慘事ニ關スル質問主意書

提出者 中野種一郎君

庶民金融機關監督ニ關スル質問主意書

提出者 中野種一郎君

砂鐵製鍊法ノ研究獎勵ニ關スル質問主意書

提出者 中野種一郎君

提出者 高橋壽太郎君

(以上三月二十日提出)

一去二十日衆議院規則第十五條但書ニ依リ

議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

三五 後藤 亮一君

四〇 三木 武吉君

一去二十日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第七部選出

建議委員 菊池 良一君

第七部選出

建議委員 岩瀨 亮君

一去二十日特別委員理事補選舉ノ結果左ノ如シ

農村救濟負擔均衡法案(清瀨一郎君外四名提出) 外一件委員

理事 小林 鑄君(理事出井兵吉君

本月十七日委員辭任ニ付其ノ

補闕)

一去二十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ

如シ

出版法中改正法律案(政府提出)貴族院送付委員

牧野 賤男君 犬養 健君

加藤 知正君 益谷 秀次君

星島 二郎君 山下 谷次君

增田 義一君 山根 儀重君

松谷與二郎君

一去二十日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)外

三件委員

辭任佐藤 重遠君 補闕水久保甚作君

農村救濟負擔均衡法案(清瀨一郎君外四名提出)外一件委員

辭任畑七右衛門君 補闕小林 鑄君

議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、只今山本内務大臣ヨリ函館市ノ罹災狀

況ニ關スル報告ニ付キ發言ヲ求メラレマシ

タ、此際之ヲ許シマス——山本内務大臣

函館市ノ罹災狀況ニ關スル國務大臣ノ

報告

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

ニ發生致シマシタル大火ニ付キマシテ、只

今迄報告ニ接シマシタル概要ヲ申上ゲマス、

火災ハ昨二十一日午後六時半頃、函館市谷

地頭町ヨリ出火致シ、折柄ノ東南秒速十八

米餘ノ烈風ニ煽ラレマシテ、忽チ燃エ擴ガ

リ、且ツ數箇所ニ飛火致シマシテ、消防隊

ノ決死ノ努力モ空シク、市ノ殆大半ヲ燒

失致シマシタ、燒失戸數ハ、詳細ハ未ダ判

明致シマセヌガ、約二万戸以上ノ模様デア

リマス、又人ノ死傷ニ付キマシテハ、何分

當時ノ通信機關絶セラルガ爲メ、其詳細ヲ知

ルコトガ出来マセヌガ、相當多數ニ上ツテ居

ル見込デアリマス、火災ハ今朝ニ至リ漸ク

鎮火シタ模様デアリマス、尙ホ午前十一時

十分ノ報告ニ依リマスレバ、東京函館間電

報

七六三

信二回線開通致シタトノコトデアリマス、消防防護ノ情況ヲ申上ゲマスレバ、大火ノ報ニ接シマスルヤ、北海道廳警察部ヨリハ、直チニ其隣接警察署長ニ對シ、警察官及消防組員ノ救援ヲ命ジマシテ、一方第七師團トモ協力シ、地元警察署員、消防組員ト共ニ極力警戒防禦ニ努メシメツ、アリマス、又更ニ北海道廳管下各警察署ヨリモ、ソレノ應急救護ノ物資ヲ、本日ノ一番列車ニ依リマシテ災害地ニ發送致シマシテ、遺憾ナキヲ期シツ、アル次第デアリマス、内務省ノ處置ト致シマシテ、内務省ニ於キマシテハ、火災ノ報ニ接シマスルト共ニ、警戒及ビ救護ニ對シマスル各般ノ手配ヲ執リツ、アリマスルガ、取敢ヘズ警戒及ビ救護情況調査ノ爲メ、警保局ヨリ事務官ヲ、又衛生局ヨリ防疫官ヲ、社會局ヨリ社會部長ヲ現場ニ派遣スルコトニ致シマシタ、一方社會局ヲシテ防寒外套、食料、醫療救護品「バラック」材料等ノ救護物品、並ニ災害復興物資ノ送付計畫ヲ樹立シ、軍部當局ト協力シテ、著々罹災民ノ救援ニ努力セシメツ、アル次第デアリマス、此段御報告致シマス（拍手）

○議長（秋田清孝） 林陸軍大臣及ビ大角海軍大臣ヨリモ發言ヲ求メラレマシタ、順次之ヲ許シマス——林陸軍大臣

（國務大臣林銑十郎君登壇）

○國務大臣（林銑十郎君） 昨夕來ノ函館ノ大火ニ付テ、陸軍部トシテ取敢ヘズ處置致シテ居リマスコトヲ報告致シマス

函館ニ居リマスル重砲兵大隊、是ハ取敢ヘズ應急ノ救援ニ當テ居リマス、又第七師團留守司令官ハ、旭川及ビ札幌ヨリ工兵並ニ衛生部員ヲ急派致シマシテ、救護ニ任ゼシ

メテ居リマスルガ、同時ニ毛布九千枚、乾パン三萬食、罐詰三萬六千食ヲ罹災地ニ向テ急送致シマシタ、尙ホ出征軍人家族、戰死者ノ遺族及ビ傷痍軍人等ニ對シマシテ、取敢ヘズ救護上遺憾ナキヲ期シマスル爲ニ、特ニ本省ヨリ將校ヲ現地ニ急行致サセマシタ、又航空機ノ派遣ヲ企圖致シマシタガ、現地ノ積雪ノ關係上、遽ニ飛行ノ實施方困難ナ状態ニアリマスノデ、是ハ尙ホ研究ヲシテ居ル次第デアリマス、其他救護救恤ニ關シマシテ、各種ノ準備ヲ手配中デゴザイマス、取敢ヘズ右ノ次第ヲ報告致シマス（拍手）

○議長（秋田清孝） 大角海軍大臣

（國務大臣大角岑生君登壇）

○國務大臣（大角岑生君） 函館ノ火災ニ付キマシテハ、洵ニ同情ニ堪ヘザル次第デアリマスルガ、未ダ海軍側ヨリ詳細ナ公報ニハ接シテ居リマセヌ、取敢ヘズ大湊要港部司令官ニ電命ヲ致シマシテ、同地ニ碇泊中ノ驅逐艦四隻、碎氷艦一隻、其他敷設艇等ノ中ノ、直チニ出動シ得ベキモノヲ、成ベク多數速ニ函館ニ派遣スルヤウ命令ヲ致シマシタ、同地ニ於ケル救護品ノ直チニ利用シ得ルモノハ「ビスケット」ガ約二噸、其他罐詰類ガ一噸弱デアリマス、毛布ガ三千枚、其他軍服、襪袴、靴等、一千著乃至二千人分ノモノヲ利用シ得ル次第デアリマス、尙ホソレデハ足りマセヌノデ、今朝直チニ横須賀ノ軍需部ニ命令ヲ致シマシテ「ビスケット」類約五噸半、ソレカラ罐詰類三噸半、毛布六千枚、外套、軍服、襪袴等、千五百人分乃至二千人分ノモノヲ準備致シマシテ、直チニ貨車ニ積ミ發送致シマシタ

尙ホ情報アリ次第、海軍トシテモ出來得ルダケ救護ニ從事致シタイト思ヒマス（拍手）

○議長（秋田清孝） 只今ノ政府ノ報告ニ關シテ質疑ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス——東武君

○東武君 簡單デアリマスカラ、自席デ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長（秋田清孝） 宜シウゴザイマス

○東武君 今回ノ函館ノ大火ハ、只今内務大臣ヨリ御報告ヲ承リマス、殆ド二萬餘戸ニ達シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、又死傷者モ、マダ確定スルコトハ出來ナイノデアリマスルガ、數千名以上ノ死傷ガアルト云フコトハ、新聞其他ノ報道ニ依ッテ明カデアアルノデアリマスガ、實ニ非常ナル大火災ト考ヘルノデアリマス、只今内務大臣、陸海軍兩大臣ヨリシテ、種々御懇切ナル御救護ノ方法ニ對スル御施設ヲ承リマシテ、非常ニ満足ヲ致シテ居ル次第デアリマスルガ、函館ハ往年、今ヨリ十數年前ニモ、殆ド全滅ニ近イ大火ガアッタノデアリマス、隨テ函館ノ復興ニ對シテハ、今後市民一般ニ一層困難ヲ感ズルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、故ニ此場合ニ於キマシテハ、陸海軍兩相、内務大臣等ノ懇篤ナル御施設ニ對シマシテハ、深甚ノ敬意ヲ表スルト同時ニ、今後ニ對スル處置ト致シマシテモ、應急ノ對策乃至臨時ノ對策、或ハ窮民ノ救助、貧困者ノ救護、又政府ヨリシテ貧困者ニ、或場合ニ於テハ貸付米、政府所有ノ米穀ナドヲ貸與スルコトノ必要ナドモ、起テ參ラウト思フノデアリマス、其他復興資金、低利資金ノ融通、是等ニ對シテハ、多ク政府ニ依頼スル點モアラウト考ヘルノデアリマスルガ、應急ト臨時ノ對策ニ付テハ、遺

憾ナク御實施アラントヲ、特ニ此議會ヲ通ジテ政府ニ要望ヲ致ス次第デアリマス、之ヲ以テ私ノ發言ハ終リマス（拍手）

○議長（秋田清孝） 山本厚三君

○山本厚三君 簡單デアリマスカラ、自席カラ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長（秋田清孝） 宜シウゴザイマス

○山本厚三君 昨日ノ函館ノ大火ハ、二十五年前ノ一萬戸以上ノ大火ヨリハ、尙ホ一層ノ慘事デアリマシテ、只今内務大臣ノ報告ヲ伺ヒマシタ所、二萬戸以上デアッテ、死傷者ハ多數ノ見込ト云フノデアリマスルガ、新聞ノ記事ニ依リマスルト、千人ノ死者、負傷數千人ト云フコトニ報道セラレテ居ルノデアリマス、其事情ニ於キマシテハ、往年ノ東京ノ大震災災トモ比スベキ慘事デアラウ、殊ニ時期ガ非常ニ寒氣ノ折柄デアリマシテ、町ノ大半ヲ失タル函館ノ市民ノ窮狀ト云フモノハ、實ニ想像スルガモ恐シキ程ノ慘狀デアラウト考ヘテ居リマス、之ニ對シマシテ只今内務大臣、海陸兩大臣ヨリ、應急ノ處置ヲ怠リナク御執リ下サット云フコトニ付キマシテハ、洵ニ感謝ノ至リニ堪ヘナイノデアリマス

併ナガラ御承知ノ通りニ、只今御報告ニナッタ程度ノ食料、被服等デハ、殆ド目前ヲ凌グニ過ギナイノデアリマスルガ、尙ホ之ニ付キマシテハ、内務當局ニ於カレマシテハ、續イテ如何ナル程度ノ救護、救助ノ御方針デアリマスルカ、非常ニ憂慮ノ餘リ、之ヲ一應伺ッテ置キタイノデアリマス、尙ホ此機會ニ一言政府當局ニ御願ヲ申上ゲテ置キタイコトハ、往年ノ大震災災ニ於キマシテハ、應急手當並ニ應急ノ救助トシテ、非常ナ多クノ國帑ヲ費シ

トシテ、非常ナ多クノ國帑ヲ費シ

テ、其救助ヲ致シタノデアリマスルガ、前

中ス通りニ、今回ノ火災ハ普通ノ千、二千
ト云フ大火ト違ヒマシテ、四万戸ノ町ノ中
ノ最モ中心ノ繁華ナ區域ガ二万戸焼失ニナ
テ、數千ノ死傷者ガ出来タノデアリマスル
ラ、普通ノ救助ノ方法デハ、到底之ヲ救フ
コトガ出来ナイト思フノデアリマス、願ク
ハ關係各自ハ申スニ及バズ、内閣全體トシ
テ、此救助ノ方法ニ付テ最善ヲ盡サレンコ
トヲ、切ニ御願致ス次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 小池仁郎君

○小池仁郎君 此席ヨリ御許シテ願ヒマス
○議長(秋田清君) 宜シウゴザイマス

○小池仁郎君 此度ノ函館ノ大火災ハ、大正
十二年ノ帝都ノ大震災ニモ準ズベキ、大ナ
ル災害ト思ハレマスルガ、洵ニ春マダ淺ク、
殊ニ殘寒ノ激シイ時ニ、罹災民ノ上ニハ一
層同情ニ堪ヘナイノデアリマス、政府ハ此
罹災者ニ對スル機宜ノ御處置ハ、只今内務
大臣、陸海軍兩大臣ノ御報告ヲ承リマシテ、
此機宜ヲ得タル御處置ハ感謝ニ堪ヘマセヌ、
併ナガラ御承知ノ通りニ、アノ函館ノ地勢
ハ、一方ハ要塞地帯ノ丘陵デアリ、洵ニ地
域ノ狭イ處ニ、此未曾有ノ大火災ニ遭ヒマ
シタノゾ、人々ノ困難名狀スベカラザルモ
ノアリト考ヘルノデアリマス、多ク言フ必
要ハアリマセヌガ、既ニ政府當局ニ於カレ
テハ、機宜ノ御處置ヲ御執リニナッテアリマ
スカラ、尙ホ此上ニ其救済ノ方法ニ、其復
興ノ方法ニ、遺憾ナキヤウ御處置アラシコ
トヲ熱望致シマシテ、私ノ發言ヲ終ルコト
ニ致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 東、山本、小池三君ノ
御發言ハ、總テ同一趣旨ノモノデアリマスル
ガ、此際内務大臣ハ何カ御發言ガアリマスカ

(國務大臣男爵山本達雄君登壇)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 只今御三君
ヨリ御話ノコトハ、詳細ニ承知致シマシタ、
本日午後二時ノ汽車デ、内務ハ先刻申上ゲ
マシタ通り、三名ノソレハ、關係ノ者ヲ出
立致サセマシタ、ソレカラ北海道長官ガ上ッ
テ居リマシタガ、是モ本日急ニ出發致シマ
シテ、向フノ事ヲ調ベルコトニ相成ッテ居リ
マスカラ、其上デ成ベク最善ノ力ヲ盡シタ
イト思フノデアリマス、是ダケ御答致シテ
置キマス

○議長(秋田清君) 是ヨリ日程ニ入りマス、
日程第一、昭和九年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關スル法
律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員會ノ
報告ヲ求メマス——理事小笠原三九郎君

第一 昭和九年度一般會計歳出ノ財源
ニ充ツル爲公債第二次追加發行ニ關
スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一 昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債第二次追加發行ニ關スル法律
案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十日
理事 小笠原三九郎

衆議院議長秋田清君
○小笠原三九郎君 極メテ簡單デアリマス
カラ、當席ヨリ御許シテ願ヒマス

○議長(秋田清君) 許可致シマス
○小笠原三九郎君 只今議題トナリマシタ
昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲

公債第二次追加發行ニ關スル法律案ニ付キ
マシテハ、委員會ニ於テ質疑終局ノ後討論
ニ入り、政友會ノ増田金作君、民政黨ノ松尾
四郎君、國民同盟ノ野中徹也君ヨリ、ソ
レゾレ原案ニ賛成ノ旨ヲ述べラレ、續イテ
採決ニ入り、全會一致之ヲ可決致シマシタ、
右御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ第二讀會ヲ開ク
ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) ソレデハ本案ノ第二讀
會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ
開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ
通り可決サレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直チニ第二讀會ヲ開キ、議案全部
ヲ議題ト致シマス

昭和九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツ
ル爲公債第二次追加發行ニ關スル法
律案
第二讀會(確定議)

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ
ヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り
可決確定致シマシタ

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議
ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、鑛業
法中改正法律案ヲ議題トナシ、委員長ノ報
告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミ
マス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——政府
提出、鑛業法中改正法律案ノ第一讀會ノ續
ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——
横川重次君

鑛業法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一 鑛業法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和九年三月二十二日
委員長 横川 重次

衆議院長秋田清君
〔横川重次君登壇〕

○横川重次君 鑛業法中改正法律案ノ委員
會ノ審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマ
ス、本案ノ要旨ハ、現行鑛業法中ノ鑛種ノ
規定ノ中ニ、新「ニッケル」鑛ト「コバルト」
鑛ト、石膏及ビ重晶石ノ四種類ヲ加ヘルト
云フ案デアリマス、尙ホ附則ニ於キマシテ、
既得ノ權利者ニ對シマシテノ利益ノ保護ヲ
規定シテゴザイマス、即チ採掘者並ニ其權
利ノ承繼人ニ對シマシテハ、六箇月間ノ猶
豫ヲ以チマシテ、先願主義其他鑛業法中ニ
規定シテアリマスル所ノ各種ノ規定ニ拘ラ
ズ、優先的ニ之ヲ認可スルト云フコト、又
モウ一箇條ハ、從來其土地所有者ガ採掘者
トノ間ニ、契約其他ニ依リマシテ利益ノ授
受ヲ約束シテ居リマスル其權利ニ對シマシ
テハ、同様ニ是ガ補償金ヲ請求スルコトヲ
得ト云フ規定ヲ設ケマシタコト、是ガ本案

ノ大體ノ趣旨デアリマス、本案ノ質疑ニ入リマシテ、大體鑛業法ト溫泉閉止ノ問題、乃至ハ鑛毒被害ト民業保護ノ問題、乃至改正案規定ノ鑛物ト國防トノ關係、鑛業行政刷新ニ關スル問題等、重要ナル質疑ガ交サレタノデアリマスルガ、討論ニ入りマシテ、政友會ノ加藤鐵五郎君ヨリ贊成ノ意味ノ御發言ガアリ、民政黨ノ田島勝太郎君ヨリモ、同様贊成ノ意味ノ御演說ガアツクノデアリマス、要シマスルニ、本案ハ時勢ノ進運ニ鑑ミマシテ、産業上、國防上ニ於キマシテ、當然必要デアリマスル所ノ改正ヲ、茲ニ現ハシタモノデアリマシテ、是ガ事業ノ圓滿ナル發展ニ對シマシテハ、斯様ナ改正ト云フコトガ特ニ必要デアルノデアリマス、一方ニ保護ヲ與ヘ、一方ニ監督權ヲ發揚致シマシテ、是ガ事業ノ發展ヲ期シマスルコトハ、寧ロ遲キニ失スル、政府ノ提案ガ寧ロ遲キニ失スルト云フ意味ノ論旨デアツクノデアリマス、次デ採決ニ入りマシテ

全會一致ヲ以チマシテ可決確定致シタ次第デゴザイマス、詳細ハ速記録ニ於テ御承知願ヒタイノデアリマスルガ、何卒委員會決定ノ如ク御承認アランコトヲ切望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決サレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第七乃至第九ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ。日程第七乃至第九ハ、同一委員ニ付託セラレタル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、日程第七、牧野賤男君外十三名提出、借地借家調停法中改正法律案、日程第八、牧野賤男君外十三名提出、小作調停法中改正法律案、日程第九、作田高太郎君外十三名提出、刑法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス。委員長立川太郎君

第七 借地借家調停法中改正法律案 (牧野賤男君外十三名提出)

第八 小作調停法中改正法律案 (牧野賤男君外十三名提出)

第九 刑法中改正法律案 (作田高太郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 借地借家調停法中改正法律案 (牧野賤男君外十三名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

〔別紙〕

刑法中左ノ通改正ス

第二十五條中「二年以下」ヲ「三年以下」ニ改ム

(立川太郎君登壇)

○立川太郎君 借地借家調停法中改正法律案ト小作調停法中改正法律案ヲ一括シテ、御報告申上ゲマス、借地借家調停法中ニ於キマシテ改正致シタイ分ハ、第七條デアアルノデアリマスガ、第七條ハ「當事者及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス」ト云フコトニナツテ居リマス、但書ト致シマシテ「已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得」トナツテ居ルノデアリマス、裁判所ノ許可ヲ受ケマシテ、初メテ代理人ヲ出頭セシムルコトガ出來ルノデアアル、小作調停法ニ於キマシテモ第十六條ニ於キマシテ「當事者、總代及利害關係人ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ受ケ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、何レモ裁判所ノ許可ヲ受ケマシテ、初メテ代理人ヲ出頭セシムルコトガ出來ルノデアリマス、之ヲ他ノ普通ノ裁判ト同様ニ、利害關係人ガ出頭スルカ、サウデナイ場合ハ代理人トシテ辯護士ヲ出頭セシムルヤウニスルト云フ、別段ニ裁判所ノ許可ヲ受ケナクテモ、當然當事者及ビ利害關係人ガ頼ンダ辯護士ガ、出ラレルト云フヤウニ改正シタイト云フ趣旨デアリマス、本案ハ政友、民政ノ兩黨派ニ屬スル法曹議員ノ方カラ共同提案デアリマシテ、政府委員ノ意見モ聽キマシタ、又色々審議致シマシタガ、滿場一致ヲ以テ提案通

リ改正スベキモノト議決致シタノデアリマス、委細ハ速記録ニ依テ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

次ニハ刑法中改正法律案デアリマス、是ハ現行法二十五條ニ於キマシテ、二年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ言渡ヲ受ケタ者ニ對シテノミ情狀ニ依ッテ執行猶豫ヲナスコトガ出來ルヤウニナッテ居ルノデアリマスガ、單ニ二年以下デハ足りナイ、三年以下マデ延バス必要ガアルト云フ意味ニ於テ、提案ヲサレタノデアリマスガ、是モ政民兩方ノ議員ヨリノ共同提案デアリマシテ、委員會ニ於テハ滿場一致可決シタ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決サレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

借地借家調停法中改正法律案 第二讀會(確定議)
小作調停法中改正法律案 第二讀會(確定議)

刑法中改正法律案 第二讀會(確定議)
○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ

官報號外 昭和九年三月二十三日 衆議院議事速記録第二十七號 借地借家調停法中改正法律案(確定議) 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(確定議) 未成年者飲酒禁止法中改正法律案 第一讀會 七六七

ス、第三讀會ヲ省略シテ、三案共委員長報告通リ可決確定致シマシタ(拍手)——是ヨリ日程第二乃至第六ノ審議ニ入ルノデアリマスガ、議員諸君提出ノ法律案ハ、去ル十六日及ビ十七日ノ本會議ニ於テ御決議ニナリマシタト同様、其趣旨辯明ハ各、自席ヨリ簡潔ニ之ヲ爲シ、其時間ハ五分間以内トスルコトニ御異議アリマセスカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス
〔異議ナシ〕、中野寅吉君「異議アリ」ト呼フ

○議長(秋田清君) 中野君ノ御異議ハ贊成ガアリマスカ
○中野寅吉君 議事進行ニ付テ……

○議長(秋田清君) 一寸御待チ下サイ、只今議長ノ發議ニハ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ左様ニ決シマシタ、尙ホ趣旨辯明省略ヲ申出ラル、向ハ、御希望ニ依リ議長ニ於テ適當ナリト認ムル程度ノ理由書ヲ、特ニ速記録ニ掲載スルコトヲ許スコトモ、前會ト同様ニ取計ヒマス——中野君ニ申シマスガ、議事進行ノ發言ニ付テモ、豫テ議院ハ一ツノ先例ヲ有ッテ居リマス、適式ノ手續ヲ經テ御發言アランコトヲ希望致シマス——日程第二、未成年者飲酒禁止法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者坂東幸太郎君

第二 未成年者飲酒禁止法中改正法律案(栗原彦三郎君外十二名提出)

第一讀會

未成年者飲酒禁止法中改正法律案

未成年者飲酒禁止法中改正法律案

未成年者飲酒禁止法中改正法律案

未成年者飲酒禁止法中改正法律案

未成年者飲酒禁止法中改正法律案 通告ガアリマス——中野種一郎君
〔中野種一郎君登壇〕

○中野種一郎君 只今御提案ニ相成リマシタ未成年者飲酒禁止法中改正法律案ハ、既ニ第五十一議會以來屢、御提案ニ相成リマシテ、前六十四議會ニ於キマシテモ、慎重ニ論議ハ盡サレテ居リマスガ、遂ニ委員會デハ否決ト相成ッタノデアリマス、當時提案者中ニ於キマシテモ、本案ハモウ御互方理解ヲシタカラ、今後ハ國策上酒類ノ全廢ノ研究ヲシヨウデヤナイカトサヘ、意見ノ交換ヲサレタ案デアリマスガ、更ニ今日又茲ニ御提案ニ相成リマシタ其勇氣ト御精神ニ對シテハ、私共ハ頗ル敬意ヲ表スル者デアリマスガ、遺憾ナガラ承服セザル點ガゴザイマスルノデ、簡單ニ質問ヲ申上ゲマシテ、私ハ承リタイト存ジマス

第一ニ、本改正案ノ提出者ハ、飲酒ハ其程度ノ如何ニ拘ラズ、絕對ニ保健上又ハ風教上ニ惡影響ガアルモノトノ御考デアリマセウカ(其通り)ト呼フ者アリ)將又適度ノ飲酒ハ何等影響ハナイガ、酒ハ禮ニ始テ亂ニ終ルト謂フ、免角其度ヲ過シ易イ、而モ飲酒ノ程度ヲ抑制スルコトハ不可能デアアルガ故ニ、之ヲ禁止スルノ外ナシトノ御考デアリマスルカ、此點ヲ提案者ニ第一ニ理由ヲ承リタイト思フノデアリマス

第二ニハ、本案ノ提案者ガ、禁止年齢ヲ二十五歳トセラレマシタノハ、各人ガ二十歳ニ達シナケレバ、心身ノ發育ガ未ダ十分デナイ、隨テ斯ノ如キ者ガ飲酒スルコトハ、頗ル危険大ナルモノデアルト云フ御見解デアリマセウカ、左様ノ御見解ノ下ニ御提案ニナッテ居ルヤウニ私共承知致シマス

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○坂東幸太郎君 簡單ニ議案ノ大要ヲ説明申上ゲマス、現行ノ未成年者飲酒禁止法ハ、大正十一年ノ制定ニ係リマスルガ、此法案ノ形ニ於テハ未成年者禁酒デアリマスガ、其内容ニ於テハ、青年ガ飲酒ヲスルト云フコトハ身體ノ發育上、或ハ人格ノ陶冶上、或ハ學問ノ勉學上有害デアアル、サウ云フ趣旨ニ依ッテ出來タ法律デアリマス、今改正案ノ趣意ハ三點ニアリマス、先ツ第一ニハ其名稱ヲ飲酒取締法ト改正シ、又第一條ニ於キマシテ「未成年者トアルノヲ」二十五歳未滿ノ者」トナシ、又從來現行法ノ處罰ノ規定ハ、是ハ違反者ニアラズシテ、違反者ノ親權者及ビ監督者デアリマスルガ、二十五歳法案ガ通過シタ場合ニハ、二十歳マデハ現行法通り、二十歳以上二十五歳マデハ其違反者ヲ罰セントスルモノデアリマス、今更飲酒ノ弊害ハ述べル必要ガアリマセスカ、苟モ子ヲ持ツ父トシ母トシテ、自分ノ子供ノ飲酒ヲ喜ブ者ハ一人モナイト信ジマス、即チ青年ニ飲酒ヲ禁止スルト云フコトハ、是ハ天下ノ通念デアリマス、隨テドウカ慎重審議ノ上、滿場ノ御協賛ヲ御願スル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス——中野種一郎君

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス——中野種一郎君

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス——中野種一郎君

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス——中野種一郎君

ルガ、果シテ然ラバ、我方兵役法ハ二十歳ヲ以テ徵兵適齡ト爲シ、一度徵集セラレンカ、國家ノ干城トシテ、邦家ノ安危ヲ雙肩ニ荷ヒ得ル所ノ、健全ナル身體ト精神ヲ具有シテ居ルモノデアリマス、ノミナラズ過去ノ歴史ニ徴シテ之ヲ見マシテモ、彼等青年兵士諸君ガ、其名ニ恥ヂザル行動ヲ爲シ、帝國ヲシテ今日ノ隆盛ニ導キマシタコトハ、茲ニ多辯ヲ要セザル所デアリマス、尙又我方民法ハ二十歳ヲ以テ成年者ト爲シ、一切ノ法律行爲ヲ認メテ居ルノデアリマス、是亦過去ノ實績ニ徴シマシテモ何等不都合ナキノミナラズ、近年ニ於テハ今少シク成年期ヲ引下ゲル方ガ、寧ロ社會情勢ノ上ニ於テ、適合シテ居ルノデハナイカトサヘ言ハレル學者ガ多々アルノデアリマス、更ニ之ヲ醫學上ヨリ見マシテモ、各人二十歳ニシテ心身共ニ十分ナル發育ヲ遂ゲルモノアリトサレテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク我國ノ重要ナル法典ニ於テ、既ニ完全人トシテ取扱ヒ、其醫學上ヨリ見ルモ立證サレテ居ル今日、何ガ故ニ未成年者飲酒禁止法ノミニ、各人ガ二十五歳ニ達シナケレバ、一人前ノ人間トシテ取扱ハナイノデアアルカ、時代錯誤モ亦甚シキモノト言ハナケレバナリマセヌ、此點提案者ノ御説明ヲ承リタイノデアリマス

第三ニハ、酒ハ萬人周知ノ如ク、古來ヨリ現今ニ至ルマデ、人種ノ差異、文化ノ程度ヲ問ハズ、人類ノ存スル所、常ニ存在ヲシテ居ルノデアリマス、尙モノ物ノ存在スル所、必ズ其處ニ價值ノアルモノデアルト云フ金言ト、右ノ事實ヲ思合セマス時ニ、酒ガ如何ニ人類生活ニ必要缺クベカラザル嗜好飲料デアリマスカラ、容易ニ知ルコトガ

出來ルノデアリマス、又最近亞米利加ニ行ハレマシタ禁酒法撤廢ノ後ヲ見マシテモ、如何ニ亞米利加ガ禁酒法ニ惱サレテ居ッタカト云フコトガ、立證サレテ餘リアルノデアリマス、斯ノ如ク酒類ハ人間生活ノ上ニ無クテハナラナイ嗜好飲料デアリマスカラシテ、其飲用禁止ノ範圍ヲ擴大スルニ當リマシテハ、深ク考慮ヲ要シ、研究ニ研究ヲ重ねテ、萬全ヲ期スル要ガアルノデアリマス、單ナル部分的ノ……

○議長(秋田清君) 御發言ハ討論ニ互ツテ居ルヤウデアリマスカラ、遺憾ナガラ中止シマス

○中野種一郎君(續) 然ラバ簡單ニ發言致シマス——適度ノ飲酒ハ精神上、肉體上、大ナル效果ノアリマスモノデアリマシテ、世間既ニ周知ノ事實デアリマス、古來酒ハ百藥ノ長ト言ハレ來ッタノデアリマスカ、此點提案者ノ御説明ヲ承リタイノデアリマス、殊ニ晨ニ星ヲ戴キ、一日ノ勞務ニ疲レ切ッタ人々ガ、夕刻ノ食膳ニ、芳醇ナル一杯ノ酒ニ其苦ヲ忘レ、陶然トシテ人生ヲ樂ンデ居リマスノハ、日本家庭ノ美風デアリマス

○議長(秋田清君) 御發言ハ討論ニ互ツテ居ルヤウデアリマスカラ、遺憾ナガラ中止シマス

○議長(秋田清君) 御發言ハ討論ニ互ツテ居ルヤウデアリマスカラ、遺憾ナガラ中止シマス

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出、健康保險法中改正法律案外一件ノ委員ニ付託サレシコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第三及ビ第四ハ、同種議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

第三 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案 第一讀會

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案 第一條 本法ニ於テ鐵道トハ國有鐵道(連絡航路ヲ含ム)、一般交通ノ用ニ供スル地方鐵道及軌道並南滿洲鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ謂フ

テ旅客ヲ運送スル船舶ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 傷痍軍人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ增加恩給及傷病年金受給者ニ在リテハ無賃、一時賜金受給者ニ在リテハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乘車スルコトヲ得

第四條 傷痍軍人ニシテ傷痍、疾病又ハ老齡ノ爲他人ノ扶助ヲ要スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ附添人一名ヲ限リ本人相當ノ無賃又ハ旅客運賃割引ニテ之ヲ同伴スルコトヲ得

第二條 本法ニ於テ船舶トハ一般交通ノ用ニ供スル爲航路ヲ定メ定期ニ航行シ

用ニ供スル爲航路ヲ定メ定期ニ航行シテ旅客ヲ運送スル船舶ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 傷痍軍人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ増加恩給及傷病年金受給者ニ在リテハ無賃、一時賜金受給者ニ在リテハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乗車スルコトヲ得

第四條 傷痍軍人ニシテ傷痍、疾病又ハ老齡ノ爲他人ノ扶助ヲ要スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ附添人一名ヲ限リ本人相當ノ無賃又ハ旅客運賃割引ニテ之ヲ同伴スルコトヲ得

第五條 戰公傷病死者ノ遺族ハ命令ノ定ムル所ニ依リ靖國神社大祭若ハ招魂祭ニ參拜ノ爲又ハ遺骨ノ出迎受領等ノ爲旅行スルトキハ其ノ往復ニ限リ無賃又ハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乗車スルコトヲ得

第六條 第三條第四條及第五條ニ掲クル者船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ本法ノ規定ニ依リ無賃ニテ乗車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ五割引、五割引運賃ニテ乗車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ二割引ニテ乗船スルコトヲ得

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○高橋壽太郎君 只今上程セラレマシタ傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乗車船優遇ニ關スル法律案ノ提案ノ理由ヲ、極ク簡單ニ申上ゲマス、本案ハ傷痍軍人及遺族等ヲ優遇スル目的ヲ以テ、鐵道船舶等ニ無賃又ハ割引ヲ以テ乗車船スルコトヲ、法律ヲ以テ規定セントスルノデアリマス、

現在ニ於キマシテモ、實質的ニハ省令又ハ軍規ニ依ッテ、斯ウ云フコトガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、吾々議員鐵道ノ「パス」ノヤウニ、之ヲ法律ヲ以テ規定セントスルノ趣旨デアリマス、前回マデ四回モ本院ヲ通過シタノデアリマスガ、何レモ滿場一致可決確定ヲ戴イタモノデアリマス、何卒今回モ滿場一致ヲ以テ、御可決アラントコトヲ希望致シマス、尙ホ詳細ハ委員會デ申上ゲルコトニ致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 日程第四ノ提案者ヨリ趣旨辯明省略ノ申出ガアリマシタ

○青木雷三郎君 日程第三及ビ日程第四ノ兩案ヲ一括シテ、議長指名九名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、膠州灣舊借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル建議案、此第一讀會ヲ開キマス——提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス

第五 膠州灣舊借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(久山知之君外二名提出) 第一讀會

收シ若ハ未墾地ヲ開拓シ又ハ膠州灣内ニ於テ養員事業ヲ經營セル個人又ハ會社カ華府條約並山東憲案北京細目協定ノ實施ニ伴ヒ帝國政府カ軍隊引揚後治安ヲ維持スルヲ得スシテ農業又ハ養員案ヲ經營スルコト能ハサルニ至リタル爲被リタル損害ニ對シテハ本法ニ依リ之ヲ補償スルコトヲ得

第二條 前條ニ規定スル補償金ノ總額ハ三百七十五萬圓以內トス

第三條 補償金ハ主務大臣補償審査會ノ審査ヲ經テ之ヲ決定シ額面金額ニ依リ國債證券ヲ以テ之ヲ交付ス

第四條 政府ハ前條ノ規定ニ依リ交付ニ必要ナル額ヲ限度トシ國債證券ヲ發行スルコトヲ得

第五條 本法ニ依リ補償金ヲ交付スル場合ニ於テハ政府ハ當事者ニ對シ補償ノ目的タル租借權ノ讓渡其ノ他必要ナル條件ヲ附スルコトヲ得

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○久山知之君 只今上程セラレマシタ膠州灣舊借地引渡ニ關スル條約實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案ニ對シマシテ、本案提出ノ趣旨ヲ辯明致シマス、御承知ノ通り、我國ハ、大正三年ニ獨逸ヲ膠州灣ニ討チマシテ、遂ニ此地ヲ占領致シタノデアリマス、當時ノ日本ノ國策ト致シマシテハ、人口問題ノ解決ニ對シマシテ、又北支那ニ對スル日本ノ地歩ヲ確立致シマスル必要上、此膠州灣即チ今日ノ青島ニ、多數ノ移民ヲ送出スコトヲ要望サレテ居ッタノデアリマス

ス、サウシテ其移民ノ中デモ、成ベク土著性ノアル農民ノ移民ヲ送出スコトヲ獎勵致シマシテ、サウシテ此國策ニ對シマシテ、我國ノ熱心ナル農業家ガ、多數青島ニ移民ヲ致シタノデアリマス、爾來前後八年ニ互リマシテ、日本帝國ノ管領時代ニ、獨逸ノ舊租借地内ニ公正合法ナル手續ニ依ッテ、多數ノ資本ト勞力ヲ費シテ、農業家ガ多數ノ農場ヲ開イタノデアリマス、是ハ先ニモ申上ゲマシタヤウニ、一面ニハ本邦内地ノ人口及ビ食糧問題ノ解決ヲ圖ルト云フ目的デアリ、又他面ニハ牧野全權委員ノ御述ニナシタ御議論、竝ニ歷代外務大臣ノ聲明ヲ致シマシタ、山東ノ經濟上ノ特權、及ビ專管居留地ヲ留保スルト云フ、此累次ノ帝國ノ聲明ニ信賴ヲ致シマシテ、多數ノ農業家ガ移住ヲ致シタノデアリマス、然ルニ大正十年華盛頓ニ於テ、山東縣案解決ニ對スル條約ガ結バレマシテ、更ニ北京ニ於テ此細目ノ協定ガ締結サレマシテ、其結果日本ノ農業移民ガ、非常ナ不利益ナル立場ニ立ッタノデアリマス、今日デハ農業ヲ行フコトノ出來ナイヤウナ狀況ニ陥ッテ居ルノデアリマス、サウシテ會テハ國策遂行ノ第一線ニ活躍致シマシタル是等ノ人達ガ、遂ニ國策ニ殉ズル結果ヲ招來致シマシテ、今日デハ非常ニ悲慘ナル境遇ニ陥ッテ居ルノデアリマス、私ハ國民トシマシテ、殊ニ國民ヲ代表致シマスル衆議院議員ト致シマシテ、此悲慘ナル日本ノ農業移民ノ現狀ヲ、默視スルコトガ出來ナイノデアリマス、私ガ今回此法律案ヲ提案致シマシタ理由ハ、只今申上ゲマシタ通りデアリマス、何卒滿場ノ諸君ノ御贊成ヲ得マシテ、速ナル御審議ノ下ニ、此法律案ノ通過ヲ熱望致シテ已マナイ次第デア

附則

○議長(秋田清君) 第一讀會

○議長(秋田清君) 第一讀會

○議長(秋田清君) 第一讀會

○議長(秋田清君) 第一讀會

リマス、詳シイコトハ委員會ニ於テ申述ベ
マシテ、之ヲ以テ私ノ趣旨辯明ヲ終リマス
(拍手)

○青木雷三郎君 本案ハ江藤源九郎君提
出、傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道
船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案外一件委
員ニ、併セ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第六、民
事訴訟法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマ
ス——提出者小池四郎君

第六 民事訴訟法中改正法律案(小池
四郎君提出) 第一讀會
民事訴訟法中改正法律案
民事訴訟法中左ノ通改正ス
第五百七十條第一項第三號中「勞役者」ノ
下ニ、「商工業者」ヲ加フ
第六百十八條第二項中「三百圓」ヲ「千圓」
ニ改ム

○小池四郎君 民事訴訟法五百七十條並ニ
六百十八條中、中小商工業者、勞働者、俸
給生活者ニ對シテ、極メテ現狀ニ即サル
點ガアルト思ヒマス、是ガ本案ヲ提出シタ所
以デアリマスガ、詳細ハ適當ナ機會ニ申述
ベルコトニ致シマス、滿場ノ御贊成アラ
コトヲ望ミマス(拍手)

○青木雷三郎君 本案ハ山本芳治君外二名
提出、金錢債務臨時調停法中改正法律案外
一件委員ニ、併セ付託サレンコトヲ望ミマ
ス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議
ヲ提出致シマス、即チ此際、第二號、昭和
八年度歳入歳出總豫算追加案、特第二號、
昭和八年度各特別會計歳入歳出豫算追加
案、第二號、昭和九年度歳入歳出總豫算追
加案、特第二號、昭和九年度各特別會計歳
入歳出豫算追加案、追第二號、豫算外國庫
ノ負擔ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、
特第三號、昭和九年度各特別會計歳入歳出
豫算追加案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報
告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミ
マス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、
仍テ日程ハ變更セラレマシタ、第二號、昭
和八年度歳入歳出總豫算追加案外五件ヲ一
括シテ議題ト致シマス、豫算委員長ノ報告
ヲ求メマス——前田米藏君

(第一號) 昭和八年度歳入歳出總豫算追
加案
(特第二號) 昭和八年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
(第二號) 昭和九年度歳入歳出總豫算追
加案
(特第二號) 昭和九年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案

(追第二號) 豫算外國庫ノ負擔ナルベ
キ契約ヲ爲スヲ要スル件
(特第三號) 昭和九年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
報告書
衆議院議長秋田清殿

一(特第二號) 昭和八年度歳入歳出總豫算追
加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

報告書
一(特第二號) 昭和八年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

報告書
一(特第二號) 昭和九年度歳入歳出總豫算追
加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

報告書
一(特第二號) 昭和九年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

報告書
一(特第二號) 豫算外國庫ノ負擔ナルベ
キ契約ヲ爲スヲ要スル件
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

報告書
一(特第三號) 昭和九年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

報告書
一(特第二號) 昭和九年度各特別會計歳入
歳出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和九年三月二十二日
豫算委員長 前田 米藏
衆議院議長秋田清殿

○前田米藏君 只今日程ニ上リマシタ昭和
八年度追加豫算案、及ビ昭和九年度追加豫
算等六件ノ、委員會ニ於ケル審議ノ模様及
ビ結果ヲ御報告申上ゲマス、昭和八年度追
加豫算案第二號ハ、俗ニ所謂義務費又ハ補
充費等ニ屬スルモノデアリマシテ、歳入歳
出共金額ハ九百十餘万円デアリマス、即チ
警察連帶支辨費ノ増加デアルトカ、年金及
ビ恩給ノ増加デアルトカ、其他爲替交換差
金等デアリマシテ、其財源ハ前年度剩餘金
ノ繰入ニ依ッテ居ルノデアリマス、昭和九年
度追加豫算第二號ハ、災害費ガ大部分ヲ占
メテ居ルノデゴザイマシテ、歳入歳出共九

百三十餘萬圓デアリマシテ、其財源ノ殆ド大部分ハ、公債支辨ニ依ッテ居ルノデアリマス、昭和九年度追加豫算第三號ハ、米穀統制ニ關スルモノデアリマシテ、即チ米ノ買入保管等ニ要スル人件費及ビ事業費、若クハ倉庫經營費並ニ豫備費ヲ加算致シマシテ、歲入歳出共ニ五百六十萬圓餘ニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、其財源ハ全部借入金ニ依ッテ居ルノデアリマス、其他臺灣及ビ朝鮮ニ於キマシテ、米ノ生産費ヲ調査スル爲ニ要スル經費ヲ、要求致シテ居ル追加案モアリマス、又外國人ニ恩給支給ニ關スル所ノ、所謂豫算外國庫ノ負擔ニ屬スル契約ノ案件モアリマス、斯様ナ件ガ合計六件デアリマシテ、而シテ委員會ニ於キマシテハ、

政友會ノ砂田重政君ヨリ致シマシテ、三陸海嘯地帯ノ復興並ニ離島ノ對策ニ付キマシテ、吾々議員ハ今年度ノ豫算ニ計上セラルルコトヲ熱望致シテ居ルノデアアルガ、不幸ニシテ其實現ヲ見ナカッタノデアアルケレドモ、願クハ來ルベキ昭和十年度豫算編成ニ當リマシテ、之ヲ計上シテ呉レト云フ旨ノ要求並ニ質問ガアツタノデアリマス、之ニ對シマシテ大藏大臣ハ、即チ三陸海嘯地帯ノ復興並ニ離島ノ對策ハ、昭和十年度豫算編成ニ當ッテハ適當ノ計畫ヲ樹テ、豫算ニ計上スルト云フコトノ言明ヲ得タノデアリマス、其他色々ナ質疑應答ガアリマシタガ、詳細ノ事ハ速記録ニ依ッテ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、質疑ヲ打切り討論ニ入りマシテ、政友會ノ代表ヨリモ、民政黨ノ代表ヨリモ、國民同盟ノ代表ヨリモ、全部本豫算案ニ賛成セラレタノデアリマス

算總會ニ於テ高橋大藏大臣ヨリ、昭和十年度ノ豫算ニ計上スベキ旨ノ聲明ヲ得タノデアリマスガ、ドウカ一日モ速ニ其案ヲ具シテ提案ヲサレシコトヲ、重ネテ玆ニ切望ヲ致シテ本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 坂東幸太郎君

○坂東幸太郎君 私人民政黨ヲ代表シマシテ意見ヲ陳述致シマス、豫算六案ニ對シマシテハ、前田委員長ノ御報告ノ通り詳細ナル質疑應答ガアツタノデアリマス、隨テ内容ハ申上ゲマセス、此豫算六案ハ皆必要缺クベカラザルモノト信ジマス、勿論此中、米ニ對スル對策ノ法律案ハ今審議中デアリマスガ、是ハ委員會ニ委セマシテ、吾々同志ハ此豫算案ニ對シマシテ全部賛成ノ意ヲ表シマス(拍手)

第三號ノ米ノ政策ニ關スル費用デアリマス、即チ之ニ對シマシテ政友會ノ砂田君、民政黨ノ坂東君ノ御說明ガアツタト同ジ意味ニ於テ、吾々米ニ關スル委員會ノ結末ガ、此豫算ノ取捨選擇ノ基礎ニナルモノデアルト云フ前提ノ下ニ、賛成シテ宜カラウト考ヘマス、以上即チ吾々ハ只今ノ議題タル追加豫算案六件ニ對シマシテ、賛成ノ意ヲ表明致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 討論ハ終局致シマシタ、採決致シマス、第二號、昭和八年度歳入歳出總豫算追加案、特第二號、昭和八年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第二號、昭和九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、特第三號、昭和九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、以上六案ノ委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(秋田清君) 討論ニ入りマス、順次其發言ヲ許シマス——砂田重政君

○砂田重政君 簡單デアリマスカラ、此席カラ御許シテ願ヒタイ——只今議題ニナッテ居リマスル追加豫算ハ、委員長ノ報告セラレマシタ通り、法律的義務ニ屬スルモノ、若クハ災害ノ復舊ノ爲ニ已ムヲ得ザルニ出デタルモノデアリマス、隨テ是等ノ追加豫算ニハ、全部賛成ヲ致シタイと思ヒマス、尙ホ米穀對策ニ付キマシテハ、法案ノ審議中デアリマスガ、此審議ノ結果及ビ其法律案ノ通過スルト否トニ依ッテ、此豫算案ハ其必要ノ有無ガ生ズルノデアリマシタガ、一切ヲ其特別委員ニ一任ヲ致シマシテ、原案ニ賛成ノ意ヲ表シタイと思ヒマス

此際特ニ一言致シテ置キマスコトハ、豫算ノ當初ヨリ屢、要求ヲ致シマシタ三陸海嘯地帯ノ復興、及ビ離島ニ對スル特別ノ施設ヲ要スルコトハ、既ニ政府ニ於テソレゾレ豫算ヲ組ンデ、其調査審議ヲ終リマシタモノデアリマス、而シテ之ニ對シテハ、豫

○議長(秋田清君) 由谷義治君

○由谷義治君 吾々ハ政府ノ昭和九年度ノ總豫算、並ニ昭和九年度ノ第一次ノ追加豫算、所謂農村豫算ニ向ッテハ、絕對ニ反對シテ參リマシタガ、是ハ齋藤内閣ノ政策ガ悉ク無爲無能デアツテ、寧ロ有害ノ存在デアリ立場ニ於テ反對シタノデアリマス、然ルニ只今ノ議題タル昭和八年度並ニ昭和九年度ノ追加豫算案六件、其中五件マデハ、先刻委員長ノ報告ニナリマシタヤウニ、或ハ法律的ノ義務費デアリ、或ハ法律ノ整理費用デアリマス、而モ昭和九年度ノ第二次追加豫算ノ如キハ、其總額九百四十萬圓ノ中デ、實ニ八百八十萬圓マデハ、内務省其他各省ノ災害復舊費デアリマス、隨テ是ハ當然政府ノ義務トシテ遂行スベキ費目ニ屬シマスカラ、齋藤内閣ノ政策トハ別議題トシテ、吾々ハ賛成致シマス、更ニ追加豫算六件ノ中ノ最初ノ一件タル、即チ特別會計

○議長(秋田清君) 六案ハ何レモ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

〔贊成者起立〕

○議長(秋田清君) 起立議員

〔拍手起ル〕

○議長(秋田清君) 六案ハ何レモ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ

○青木雷三郎君 此際暫時休憩セラレシコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ勸議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ暫時休憩

午後二時二十二分休憩

官報號外 昭和九年三月二十三日 衆議院議事速記録第二十七號 (第二號) 昭和八年度歳入歳出總豫算追加案外五件

本豫算案六件ハ、義務費ニ屬スルモノ、或ハ又災害ニ關スルモノガ大部分デアリマ

七七一

午後五時三十七分開議

○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、政府提出、臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ヲ一括シテ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求め、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ—政府提出、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、政府提出、臺灣私設鐵道補助法中改正法律案、此兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求めマス—山下谷次君

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和九年三月二十二日

委員長 山下 谷次

衆議院議長秋田清殿

報告書

一臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和九年三月二十二日

委員長 山下 谷次

衆議院議長秋田清殿

(山下谷次君登壇)

○山下谷次君 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、竝ニ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ノ兩案ニ付キマシテ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、今度ノ改正案ノ主ナル所ハ、補助ノ年限ノ改正デアリマスノト、補助ノ基準ノ改正デアアルノト、補助ノ種類ト、此三ツガ主ナルモノデアリマス、即チ從來ハ朝鮮ハ補助ハ十五年デアッタノヲ、十五年滿期ノ時ハ五年間延期スルト云フコトニナツタノデアリマス、臺灣ハ十年ノ期限ヲ、今回ハ十五年ニ致シタノデアリマス、別ニ之ニ付キマシテハ、大シク質問モゴザイマセナカッタガ、其次ノ補助ノ基準、即チ從來ハ資本ニ對シテノ補助デアッタノデアリマスガ、今回ハ建設費ニ對シテノ補助ニナツタノデアリマス、之ニ對シテ質問ガアリマシタ所、政府ハ内地同様ニ建設費ニ對シテ補助スルトニナツタト云フ答辯デアリマス、補助ノ種類ハ從來ハ八分デアッタノデアリマスガ、今回ハ十五年滿期ニナリマシテ、其上ニ補助スルモノハ、即チ五分ノ補助ヲスルト云フコトニナツタノデアリマス、即チ十五年滿期ノ後ニ、尙ホ五年間繼續スルモノニ對シテハ五分ノ補助ヲスル、ソレカラ是カラ新設致シマスモノハ、六分ノ補助ヲスルト云フコトニナツタノデアリマス、

而シテ補助ノ中途ニアルモノ、即チ十五年ノ補助ノ期間中デ、假ニ五年過ギタナラバ後十年、サウ云フ補助ノ中途ニアルモノニ對シマシテハ、矢張元通り八分ノ補助ヲスルト云フコトニナツタノデアリマス、之ニ對シマシテハ色々質問應答ヲ續ケタノデアリマスガ、詳細ハ速記録ニ譲リマスガ、大體主ナル政府ノ答辯ハ、滿期ニナツタモノニ對シテ五分ノ補助ヲスルト云フコトハ、利益ヲ一分五厘マデ認メテアルカラ、是ハ結局八分ノ補助ニナルノデアアル、而シテ新設致シマスモノハ六分ノ補助デアアルガ、一分ノ利益ヲ保留致シテデアリマスカラ、結局是ハ矢張八分ノ補助ト同ジコトニナルノデアアルト云フ答辯デアリマシタ、ソレデ質問應答ハ終リマシテ、本日午後二時ヨリ討論ニ入リマシタ所、葉梨君ヨリハ、是ハ所謂國營ノ代行デアアルノデアアルカラシテ、其性質上政府ハ至急ニ買收セヨ、而シテ四分バカリノ公債デ買收スレバ、政府ニ於テモ非常ナ利益ガアルデハナイカ、尙ホ公債ヲ以テ鐵道ヲ買收スルト云フコトハ、赤字公債ノ喧シイ時デアアルカラ、政府モ躊躇スルノカモ知ラヌケレドモ、決シテ赤字公債デハナイ、是ハ生産公債デアアルカラシテ、政府ハ思切ッテ公債ヲ以テ買收セヨト云フ希望ヲ附シマシテ、本案ニ贊成セラレタノデアリマス

次ニ葉梨君ハ色々意見ヲ述ベラレタ末ニ、北海道ノ私設鐵道ニ對シマシテハ、今回補助ヲ減ズルヤウナ御話ガアルノデアアル、ソレハ内地デアアル北海道ニ於テ餘リ不均衡デアアル、非常ニ是ハ惡イコトデアアルカラシテ、此北海道ノ私設鐵道ニ對シマシテモ、外地ニアル鐵道同様ノ方法ニヤツテ貫ヒタイト云フ希望ヲ附シマシテ、本案ニ贊成セラレタノデアリマス、次ニハ牧山君ハ、本案ニ對シテハマダダ、質疑ヲ致シタイ所モアルケレドモ、會期切迫ノ場合、萬々一此法案ガ不成立ニ終レバ、滿期ガ目睫ニアル所ノ私設鐵道ハ、遂ニ補助ヲ受ケル所ノ資格ガ無クナルノデアアルカラシテ、已ムヲ得ズ本案ニ贊成スル、併ナガラ政府ハ至急ニ之ヲ買收シテ、サウシテ運賃ヲ値下ラシテ、産業ノ爲ニ貢獻セラレンコトヲ望ムト云フ意味ヲ以テマシテ、贊成セラレタノデアリマス、次ニ手代木君ハ、葉梨君ノ北海道ノ私設鐵道ニ對スル補助ヲ、内地同様ニセヨ、或ハ外地同様ニセヨト云フコトノ希望ニ贊成ヲ表シマシテ、本案ニ贊成セラレタノデアリマス、次ニ上野君ハ全體ニ對シマシテ贊意ヲ表セラレ、ソコデ討論ハ終結致シマシテ、之ヲ採決致シマシタ所、全員總起立デアリマシテ、政府原案ノ通り兩案トモ可決致シタ譯デアリマス、ドウゾ御審議ノ上御協贊アラントヲ御願致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部

ヲ議題ト致シマス

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

第二讀會(確定議)

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案

第二讀會(確定議)

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ

又、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ

可決確定致シマシタ(拍手)

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議

ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、貴族

院送付、著作權法中改正法律案ヲ議題トナ

シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議

アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——政府

提出、貴族院送付、著作權法中改正法律案

ノ第一讀會ヲ開キマス——内務政務次官齋

藤隆夫君

著作權法中改正法律案(政府提出、貴族

院送付)

第一讀會

著作權法中改正法律案

著作權法中左ノ通改正ス

目次中「第一章 著作權ノ權利」ノ次ニ

「第二章 出版權」ヲ加ヘ「第二章」ヲ「第

三章」ニ、「第三章」ヲ「第四章」ニ、「第四

章」ヲ「第五章」ニ改ム

第二條中「之ヲ」ヲ「其ノ全部又ハ一部」ヲ

ニ改ム

第十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

著作權ハ現ニ著作權ヲ有スルト否トニ

拘ラス其ノ著作權ノ著作年月日ノ登錄

ヲ受クルコトヲ得

第十八條第三項中「及第三十條第一項第

二號乃至第六號」ヲ「第二十七條第一項

第二項、第三十條第一項第二號乃至第九

號」ニ改ム

第二十二條ノ六 文藝、學術又ハ美術ノ範

圍ニ屬スル著作權ノ著作權ハ其ノ著作

物ヲ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供ス

ル機器ニ寫調シ及其ノ機器ニ依リ興行

スルノ權利ヲ包含ス

第二十二條ノ七 音ヲ機械的ニ複製スル

ノ用ニ供スル機器ニ他人ノ著作物ヲ適

法ニ寫調シタル者ハ著作權ト看做シ其

ノ機器ニ付テノ著作權ヲ有ス

第二十七條ニ左ノ二項ヲ加フ

著作權者ノ居所不明ナル場合其ノ他命

令ノ定ムル事由ニ因リ著作權者ト協議

スルコト能ハザルトキハ命令ノ定ムル

所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ償金

ヲ供託シテ其ノ著作物ヲ發行又ハ興行

スルコトヲ得

前項ノ償金ノ額ニ付異議アル者ハ民事

裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十八條ノ次ニ左ノ如ク加フ

第二章 出版權

第二十八條ノ二 著作權者ハ其ノ著作物

ヲ文書又ハ圖畫トシテ出版スルコトヲ

引受クル者ニ對シ出版權ヲ設定スルコ

トヲ得

第二十八條ノ三 出版權者ハ設定行爲ノ

定ムル所ニ依リ出版權ノ目的タル著作

物ヲ原作ノ儘印刷術其ノ他ノ機械的又

ハ化學的方法ニ依リ文書又ハ圖畫トシ

テ複製シ之ヲ發賣頒布スルノ權利ヲ專

有ス但シ出版權ノ設定アリタル後三年

ヲ經過シタルトキ又ハ著作權者タル著

作者ノ死亡シタルトキハ著作權者ハ著

作物ヲ全集其ノ他ノ編輯物ニ輯録シ又

ハ全集其ノ他ノ編輯物ノ一部ヲ分離シ

テ別途ニ之ヲ出版スルコトヲ妨グズ

第二十八條ノ四 出版權ハ設定行爲ニ別

段ノ定ナキトキハ其ノ設定アリタルト

キヨリ三年間存續ス

第二十八條ノ五 出版權者ハ出版權ノ設

定アリタルトキヨリ三月以内ニ著作物

ヲ出版スルノ義務ヲ負フ但シ設定行爲

ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

出版權者ガ前項ノ義務ニ違反シタルト

キハ著作權者ハ出版權ノ消滅ヲ請求ス

ルコトヲ得

第二十八條ノ六 出版權者ハ著作物ヲ繼

續シテ出版スルノ義務ヲ負フ但シ設定

行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在

ラズ

出版權者ガ前項ノ義務ニ違反シタルト

キハ著作權者ハ三月以上ノ期間ヲ定メ

テ其ノ履行ヲ催告シ其ノ期間内ニ履行

ナキトキハ出版權ノ消滅ヲ請求スルコ

トヲ得

第二十八條ノ七 著作權者ハ出版權者ガ著

作物ノ各版ノ複製ヲ完了スルニ至ル迄

其ノ著作物ニ正當ノ範圍内ニ於テ修正

増減ヲ加フルコトヲ得

出版權者ガ著作物ヲ再版スル場合ニ於

テハ其ノ都度豫メ著作權者ニ其ノ旨ヲ通

知スルコトヲ要ス

第二十八條ノ八 著作權者ハ其ノ著作物

ノ出版ヲ廢絶スル爲何時ニテモ損害ヲ

賠償シテ出版權ノ消滅ヲ請求スルコト

ヲ得

第二十八條ノ九 出版權ハ著作權者ノ同

意ヲ得テ其ノ讓渡又ハ質入ヲ爲スコト

ヲ得

第二十八條ノ十 出版權ノ得喪、變更及

質入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非ザレバ之

ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十六條ノ規定ハ出版權ノ登錄ニ付之

ヲ準用ス

第二十八條ノ十一 出版權ノ侵害ニ付テ

ハ本法中第三十四條及第三十六條ノ二

ノ規定ヲ除クノ外僞作ニ關スル規定ヲ

準用ス

「第二章」ヲ「第三章」ニ改ム

第三十條第一項ニ左ノ三號ヲ加フ

第七 脚本又ハ樂譜ヲ收益ヲ目的トセ

ズ且出演者ガ報酬ヲ受ケザル興行ノ

用ニ供シ又ハ其ノ興行ヲ放送スルコ

ト

第八 音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供

スル機器ニ著作物ノ適法ニ寫調セラ

レタルモノヲ興行又ハ放送ノ用ニ供

スルコト

第九 専ラ官廳ノ用ニ供スル爲複製ス

ルコト

第三十二條ノ二及第三十二條ノ三ヲ削

第三十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第十五條第三項ノ規定ニ依リ著作年月

日ノ登錄ヲ受ケタル著作物ニ在リテハ

其ノ年月日ヲ以テ著作ノ年月日ト推定

ス

第三十六條ノ二ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十六條ノ三 本法ノ規定ニ依ル登

録、第二十二條ノ五第三項若ハ第二十

七條第二項ノ規定ニ依ル償金ノ額又ハ

著作ニ關スル一般の事項ニ付主務大臣ノ諮問ニ應ジ又ハ此等ノ事項ニ付調査審議スル爲著作權審査會ヲ置ク
著作權審査會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

「第三章」ヲ「第四章」ニ、「第四章」ヲ「第五章」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

登録稅法第十條第四號ノ二ノ次ニ左ノ四號ヲ加フ

四ノ三 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號及第二號ノ權利ノ處分ノ制限
債權金額 千分ノ四

四ノ四 著作年月日ノ登録
每一件 金一圓

四ノ五 抹消シタル登録ノ回復
每一件 金五十錢

四ノ六 假登録
每一件 金五十錢

同法ニ左ノ一條ヲ加フ

第十條ノ二 出版權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムベシ

一 出版權ノ設定
每一件 金十圓

二 出版權ノ移轉
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓
相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓

三 出版權ヲ目的トスル質權ノ設定
債權金額 千分ノ五・五

四 前號ノ權利ノ移轉
相續 每一件 金五十錢

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓

五 信託ノ登録
每一件 金一圓

六 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限
債權金額 千分ノ四

七 抹消シタル登録ノ回復
每一件 金五十錢

八 假登録
每一件 金五十錢

九 登録ノ更正、變更又ハ抹消
每一件 金二十錢

著作權法中改正法律案

(小字及一ハ貴族院修正)

著作權法中改正法律案中貴族院修正ノ箇所ノ如シ

第二十八條ノ三 出版權者ハ設定行爲ノ定ムル所ニ依リ出版權ノ目的タル著作物ヲ原作ノ儘印刷刷其ノ他ノ機械的又ハ化學的方法ニ依リ文書又ハ圖書トシテ複製シ之ヲ發賣頒布スルノ權利ヲ專有ス但シ出版權ノ設定アリタル後三年ヲキ又ハ設定行爲ニ別段ノ定ナキ場合ニ於テ經過シタルトキ又ハ著作權者タル著作出版權ノ設定アリタル後三年ヲ經過シタルトキハ著作權者ハ著作物ヲ全集其ノ他ノ編輯物ニ輯録シ又ハ全集其ノ他ノ編輯物ノ一部ヲ分離シテ別途ニ之ヲ出版スルコトヲ妨グズ

(政府委員齋藤隆夫君登壇)

○政府委員(齋藤隆夫君) 只今上程ニナリマシタ著作權法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ大要申述ベマス、現行著作權法ハ明治三十二年ノ制定ニ係リ、其後國際條約ノ改正

等ニ依リマシテ、一部ノ改正方行ハレタノデゴザイマスガ、是等ノ何レモ條約改正ニ伴ヒ、必要ナル最小限度ノ處置ヲ講ズルニ止メマシタ關係上、最近ニ於ケル斯界ノ實情ニ鑑ミ、現行法ノ儘デハ遺憾ノ點ガ尙ホ尠クナイノデアリマス、仍テ現行著作權法ニ改正ヲ加ヘマシテ、文化ノ向上ニ資セントスル趣旨デゴザイマス、改正ノ主要ナル點ハ

第一ニ、新ニ著作年月日ノ登録制度ヲ設ケマシテ、著作權發生ノ公證方法ヲ講ジタルコトデアリマス

第二ニ、蓄音機「レコード」ニ關スル規定ヲ整備シ「レコード」ニ付テノ著作權ノ歸屬關係ヲ明ニシタコトデアリマス

第三ニ、著作權者ト協議スルコト困難ナル事情ノ存スル爲ニ、其著作物ノ利用ニ支障アル場合ニ於キマシテハ、相當ノ償金ヲ供託シテ、之ヲ發行又ハ興行シ得ル途ヲ開イタルコトデアリマス

第四ニ、新ニ出版權ヲ認メ、出版業者ノ權利ヲ保護スルト共ニ、著作者ノ人格利益ノ保護ヲ圖リタルコトデアリマス

第五ニ、適法ノ範圍ヲ擴張シ、以テ社會公共ノ利益ト、著作權者ノ私益トノ調和ヲ圖リタルコトデアリマス

第六ニ、著作物ニ關スル諸般ノ事項ニ付テ主務大臣ノ諮問ニ應ジ、又ハ是等ノ事項ニ付キ調査審議スル爲ニ、著作權審査會ヲ設ケタルコト等デゴザイマス

尙ホ本案ニ付キマシテ、貴族院ニ於テ、第二十八條ノ三但書ニ付キ修正ガゴザイマシタガ、政府ハ之ニ同意ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙幸御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレントラ希望致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ政府提出、出版法中改正法律案ノ委員ニ、併セ付託セラレントラ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、臨時米穀移入調節法案、政府提出、政府所有米穀特別處理法案、及ビ政府提出、米穀需給調節特別會計法中改正法律案ヲ一括議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレントラ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ、日程ハ變更セラレマシタ——臨時米穀移入調節法案、政府所有米穀特別處理法案、米穀需給調節特別會計法中改正法律案、此政府提出ノ三案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——胎中補右衛門君

臨時米穀移入調節法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

政府所有米穀特別處理法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一臨時米穀移入調節法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和九年三月二十二日

委員長 胎中楠右衛門

衆議院議長秋田清殿

附帶決議

米穀ノ數量及價格調節ニ關スル現行制度
ノ不備ヲ根本的ニ改正セム爲速ニ審議會
ヲ設ケ内地外地全部ニ通スル統制計畫ヲ
樹テ臨時議會ヲ召集シテ之ヲ提出スヘシ

報告書

一政府所有米穀特別處理法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和九年三月二十二日

委員長 胎中楠右衛門

衆議院議長秋田清殿

報告書

一米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和九年三月二十二日

委員長 胎中楠右衛門

衆議院議長秋田清殿

(胎中楠右衛門君登壇)

○胎中楠右衛門君 只今上程セラレマシタ
ル臨時米穀移入調節法案外二案ニ關スル委
員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、
本案ハ極メテ重大デアルコト、尙且會期ガ
餘リニ切迫致シテ居リマスルコトニ鑑ミマ
シテ、委員各位ハ各、重複ヲ避ケ、主トシ

官報號外

昭和九年三月二十三日

衆議院議事速記録第二十七號

臨時米穀移入調節法案外二件 第一讀會ノ續

七七五

テ主要ナ點ニ付テ質問應答ヲ繼續シクノデ
アリマス、詳細ノコトハ速記録ニ就テ能ク
御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、唯茲ニ一二
主要ナ點ヲ御紹介申上ゲマスルナラバ、本
案ノ骨子デアリマスル所ノ第一條——臨時
米穀移入調節法案ノ第一條ノ、政府ガ朝鮮、
臺灣ニ於テ米ヲ買ツテ、之ニ依ツテ米穀ノ
調節ヲ圖ルト云フ點ニ、質問ガ集中サレタ
ノデアリマス、此問題ハ夙ニ諸君モ御承知
ノ通り、相當歴史ヲ經テ來タ問題デアリマ
シテ、或ハ豫算總會ニ於テ、之ニ關スル政
府ノ聲明ガアリ、更ニ五相會議ト稱セラレ
ルモノニ於キマシテ申合等ガ出來テ、是ガ
世ノ中ニ公表セラレテ居ル、然ルニ本案ニ
依リマスルト、夙ニ吾々ガ承知シテ居ル所
ノ、法的手段ニ依ツテ外地米ノ統制ヲスル、
即チ或ハ認可或ハ許可制度ヲ設ケルト云フ
コトガ何等講ゼラレテナイ、唯單ニ多額ノ
金ヲ以テ米ヲ買フト云フノミデアリマス、
是ハ果シテ此洪水ノ如ク押寄セテ來ル所ノ
外地米ヲ支ヘ、サウシテ壓迫サル、所ノ内
地ノ米ノ價ヲ、調節シ得ルヤ否ヤト云フコ
トニ、頗ル疑問ガアルト云フ一點デアリマ
ス、次ニ今日ノ米ノ實情ヨリ見マスルト、
徒ニ政府ガ金ヲ出シテ米ヲ買ツテヤルト致
シマシテモ、非常ナル過剩ノ状態ニアル此
米ヲ此儘ニ致シテ、年々歳々國家ノ金ヲ以
テ米ヲ買ツテ行クト云フコトニナクナラバ、
到底國家財政ガ之ヲ許サナイ、國家財政ニ
破綻ヲ生ズル、故ニドウシテモ本問題ノ解
決ヲ爲サウト致スニハ、生産ノ制限ノ必要
ガアル、獨リ國家財政ノ上ヨリ見テ、生産
制限ノ必要ガアルノミナラス、現在ノ我國
ノ米ノ實情ヨリ見マシテモ、ドウシテモ茲
ニ生産制限ノ方法、言葉ヲ換ヘテ申シマス

ルナラバ、或ハ内地外地ヲ通ジテ、代作其
他ノ獎勵、或ハ消費ノ増進、米ノ利用ノ方
法、諸般ノ方法ヲ講ジテ、此數量ノ調節ヲ
爲シ、之ニ依ツテ米價ノ維持ヲスルト云フ方
策ヲ樹テナケレバナラス、其中ニ於テ最モ
重キヲ置クモノハ生産制限デアル、然ルニ
政府ハ是等ニ付テ何等ノ對策ヲ有ツテ居ラ
スノデヤナイカ、是デドウシテ此年々殖エ
テ行ク所ノ米、而モ現在デハ政府ハ既ニ一
千三百万石ノ米ヲ持ツテ居ル、其他ニ穀デ六
百万石、之ヲ米ニ直シマシテ三百万石、合
計一千六百万石ノ米ヲ既ニ持ツテ居リマス、
若シ本年ノ米ノ生産ガ、昨年ノヤウニ多量
ニ生産サル、ト致シマスルナラバ、九年度
ニ於テハ、三千万石ヲ越ス所ノ多量ノ米ト
云フモノヲ、吾々ハ豫想シナケレバナラス
然ルニ政府ガ是等ニ付テ何等ノ對策ヲ講ジ
テナイ、而シテ昭和十年度ノ米作ニ之ヲ考
ヘマスル時ニハ、轉々戰慄ヲ感ゼザルヲ得
ザル状態ニアルト、斯様ニ論ゼラレタノデ
アリマス

此二點ニ對シテ政府ノ答辯ハ、先ノ質問
ニ對シテハ御尤ナ御説デアツテ、吾々モ左様
ニ致シタイト考ヘタガ、餘儀ナイ事情ガアツ
テ、認可許可其他ノ管理ノ方法ヲ講ズルコ
トガ出來ナイデ、金ヲ以テ米ヲ買ツテ、本年
度ノ米ノ問題ヲ解決シテ行カナケレバナラ
スト考ヘル、併ナガラハ是ハ御承知ノ通り、
明年三月三十一日迄ノ一年限度、強テ申シ
マスルナラバ、應急對策中ノ應急對策デアッ
テ、此間ニ根本策ヲ講ズル積リデアリマスル
ト云フ答辯デアツタ、而シテ第二ノ生産制限
其他ニ關スル質問ニ對シテノ政府ノ答ハ、
政府モ其必要ヲ認メテ種々考究シ、サウシ
テ將來ニ處スル所ノ生産制限其他ニ付テハ、
今調査研究中デアルト云フ答デアリマシタ、
而シテ最モ論點ノ重點トナツテ居リマスルコ
トハ、以上ノ質問、其他種々ナル質問ヨリ
現レテ來マシタル所ノ結果トシテ、政府ハ
斯ノ如キ提案ニ依ツテ、此米ノ問題ヲ解決シ
ヨウトスルコトハ當ラナイ、是ハ爲シ得ザ
ルコトヲ爲サントスルモノデアル、言葉ヲ
換ヘテ言フナラバ、政府ガ豫算總會其他ニ
於テ屢々言明シテ來タル所ノモノハ、ドウ
シテモ何トカシテ實現シナケレバナラスノ
デアルガ、ソレ等ニ對シテ政府ガ責任ヲ果
ス所ノ、何等ノ提案ヲ見出スコトガ出來ナ
カッタ爲ニ、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラ
バ、一時遁レノ、來年三月三十一日迄當面
ヲ通レ、便宜シイト云フノデ、此法案ト云
フモノヲ出シテ來タノデハナイカ、故ニ政
府ハ米ノ根本解決ヲナシテ、サウシテ米穀
對策ノ諸般ノ決定ヲシナケレバ相成ルマ
イ、ソレヲ爲サウト云フナラバ、政府ハ當
然臨時議會ヲ開クベキデアル、又提案ノ趣
旨カラ致シマシテモ、一年限りノ法案デア
リマスル爲ニ、政府ニ於テハ當然速ニ權威
アル機關ヲ設ケ、此機關ニ依ツテ成案ヲ得
テ、之ヲ臨時議會ニ提出シテ、サウシテ協
贊ヲ求ムルノ態度ニ出デナケレバナラスデ
ヤナイカ、若シ此儘ニ抛ツテ置クナラバ、政
府ハ遂ニ米ノ問題ニ依テ、國家ノ財政ニ破
綻ヲ來サシメ、延テハ全農民、全國民ニ多
大ナル苦痛ト、サウシテ損害ヲ與ヘルノデ
アツテ、ドウシテモ政府トシテハ、自ら進ン
デ臨時議會ヲ開クベキデハナイカト云フコ
トヲ、多數ノ委員諸君ヨリ屢々政府ニ向ッテ
質問セラレタノデアリマス、然ルニ政府ニ
於テハ、勿論此法案ハ一年限りデアルカラ
シテ、ドウシテモ政府トシテハ眞劍ニ調査

會ヲ設ケ、此機關ニ依テ成案ヲ得テ、サウシテ議會ニ協賛ヲ求ムル爲ニ努力ヲスル、斯ウマデハ言ヒマスルガ、ドウシテモ臨時議會ヲ開クヤ否ヤ、開クベシト云フコトニ對シテハ、ハッキリシタ答辯ガナカッタノデアリマス、併ナガラ本日質問ガ終了シ、討論ニ入ルニ先ツテ、齋藤總理大臣ハ自ラ發言ヲ求メラレマシテ、斯様ナル言明ヲサレタノデアリマス、先日胎中委員長ヨリ臨時議會ヲ開クベシト云フ質問ニ對シテ、自分ガ胎中委員長ノ言フ通り、左様デアルト言ウタノデアリガ、其言葉ヲ此處ニハッキリ致シテ置キタイ、總理大臣ガ其意味ニ於テ讀上ガラレマシタコトハ、政府ハ本案通過後出來ルダケ速ニ根本解決ヲ得ルコトニ努力シ、速ニ成案ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ、臨時議會召集ノ手續ヲ執リ、次に米穀年度ニ實施シ得ルヤウ考慮シタイと思ヒマス、斯様ナ答辯ヲサレタノデアリマス、其他外地ニ於ケル米ノ買上ニ關スル値段、又内地ニ於ケル賣ル米ノ値段、ソレ等ニ付テモ段々質問ハアリマシタガ、ソレ等ノコトハ皆速記録ニ依ッテ御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

以上ノ如キ質問應答ガ重ネラレマシテ、サウシテ愈々本案ノ討論ニ入リマスルト、國民同盟ノ深水清君ヨリ修正意見ガ出タノデアリマス、又政友會ノ福井甚三君、民政黨ノ池田秀雄君ヨリハ、共同ノ附帶決議ガ出タノデアリマス、今茲ニ右兩君ノ共同ノ附帶決議ヲ讀ムガマスレバ

附帶決議

米穀ノ數量及價格調節ニ關スル現行制度ノ不備ヲ根本的ニ改正セムガ爲速ニ審議會ヲ設ケ内地外地全部ニ通スル統制計畫

ヲ樹テ臨時議會ヲ召集シテ之ヲ提出スヘシ

斯ウ云フ附帶決議ガ提出サレタノデアリマス、而シテ採決ニ入リマシテ、深水君ノ修正意見ハ少數ニテ破レ、福井甚三君並ニ池田君ノ附帶決議ガ、多數ヲ以テ成立致シタノデアリマス、而シテ本案ニ福井君並ニ池田君ガ、此附帶決議ヲ附シテ、本案——三案共ニ贊成スルト云フコトニ多數ヲ以テ決セラレマシテ、委員會ヲ終了致シタ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次其發言ヲ許シマス——砂田重政君

○砂田重政君 簡單デアリマスカラ、此席カラ御許シテ願ヒマス——總理大臣ニ質問ヲ致シタイと思ヒマス、只今委員長ノ報告ニ依ルト、此法律案ニ附帶決議ガ附イテ居ル、其趣旨ハ、政府ハ速ニ適當ナル機關ヲ設ケ、内地外地ニ通ズル米穀ノ統制ニ關スル根本政策ヲ確立シテ、之ヲ臨時議會ニ提案ヲ望ムト云フ意味デアリマス、此趣旨ハ政府ニ於テ既ニ御聲明ニナッタヤニ承ッテ居リマスルガ、事最モ重大ナル農民ノ死活ニ關スル問題デアリマスルカラ、此機會ニ此議場ヲ通ジテ、總理大臣ノ意思ノ存スル所ヲ、明瞭ニ國民ニ知ラシメタイト存ズルノデアリマス、願クバ此機會ニ此附帶決議ノ趣旨ヲ尊重セラレテ、臨時議會ヲ開會ノ運ビニ進メラレル誠意ノアルコトヲ、總理大臣ヨリ明瞭ニ御答辯ヲ得テ置キタイと思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣子爵齋藤實君登壇)

○國務大臣(子爵齋藤實君) 只今胎中委員長ヨリ御報告ニナリマシタカラ、私ノ委員會ニ於テ言明致シマシタコトハ、更ニ重複シ

テ申シマセヌ、併ナガラ只今附帶決議ニ付テ、砂田君ヨリ御確メナリマシタコトハ、政府ニ於テモ附帶決議ノ趣旨ヲ尊重シテ、成ベク速ニ之ニ著手シテ、實行致シタイト云フ考デ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○伊禮賢君 簡單デアリマスカラ、議席デ御許シテ願ヒマス——政府ハ只今委員長ノ報告セラレマシタ附帶決議ニ、御贊成デアルカドウカト云フコトヲ、モット明確ニ伺ヒタイと思ヒマス、即チ言明サレル所ニ依リマス、米穀需給調節ノ成案ヲ得レバ、臨時議會ヲ召集スル、斯ウ云フ風ニ申サレテ居リマスガ、然ラバ政府ハ成案ヲ得ルノ確信ガアルカドウカ、此點ヲ伺ヒタイ、左モナケレバ極ク曖昧デアリマシテ、此御言明ニ依リマシテハ、附帶決議ニ反對デアル、反對ノ意思ヲ表明セラレタト見ルヨリ外ナインデアリマス、私共ガ之ヲ御同致シマスノハ、我黨ノ態度ヲ決定スル上ニ重大ナル關係ガアリマスカラ、明確ナル御言明ヲ、此場合得テ置キタイノデアリマス

(國務大臣子爵齋藤實君登壇) 附帶決議ニ對スル政府ノ考ハ、先刻申上ゲタ通りデ變リマセヌ

(臨時議會ヲ開クカドウカト云フノダ)ト呼ビ其他發言スル者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅——靜肅……

○國務大臣(子爵齋藤實君) (續) ソレハ私ノ聲明致シマシタ通り、確定致シタル所ノ案ガ出來次第ニ、サウ云フ手續ニスル考デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)

藏君外一名ヨリ成規ニ依リ修正案ガ提出サレテ居リマス、仍テ討論ハ便宜上第二讀會ニ於テ之ヲ爲スコト、致シマス、三案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ三案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ三案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

臨時米穀移入調節法案 第二讀會

政府所有米穀特別處理法案 第二讀會

米穀需給調節特別會計法中改正法律案 第二讀會

○議長(秋田清君) 此際修正案ノ趣旨辯明ヲ許スノデアリマスルガ、提出者ヨリ趣旨辯明省略ノ申出ガアリマス、尙修正案ハ配付未済デアリマスカラ、書記官ヲシテ茲ニ朗讀センメマス

(書記官朗讀)

臨時米穀移入調節法案ニ對スル修正案(小山谷藏君外一名提出)

臨時米穀移入調節法案中左ノ通修正ス

第一條 朝鮮米及臺灣米ノ内地移入數量ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ管理ス

第二條 朝鮮又ハ臺灣ニ於ケル過剩米穀ハ政府之ヲ買上テ

前項ノ規定ニ依ル米穀買上ノ價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ生産費其ノ他ノ經濟事

情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三條中「第一條」ヲ「前條」ニ改ム

第五條中「米穀需給調節特別會計」ヲ「朝鮮米穀需給調節特別會計及臺灣米穀需給調節特別會計」ニ改ム

○議長(秋田清君) 是ヨリ討論ニ入りマス、通告順ニ依ッテ發言ヲ許シマス——小山谷藏君

(小山谷藏君登壇)

○小山谷藏君 只今上程ニナリマシタ三案ノ修正案ヲ提出致シマシタ其理由ヲ、極メテ簡單ニ説明旁、之ヲ修正セナケレバナラス理由ヲ明カニ致シタイト存ズルノデアリマス、申上グル迄モナク、此度政府カラ提案サレマシタ米穀關係ノ三案ハ、極メテ重大ナル法案デアリマス、曩ニ米穀統制法案ヲ發布致シマシタ、米穀ノ需給ノ調節並ニ價格ノ維持ヲ目的ト致シマシタ大法案ヲ、制定致シタノデアリマシタケレドモ、昨年即チ昭和八年度、異常ナル大豐作ノ爲ニ米ノ大洪水デ、而シテアノ統制法案ヲ以テ致シマシテモ、米價ノ維持ハ頗ル困難ナル状態ニ陥リマシテ、政府ノ此度此法案ヲ提出シナケレバナラヌ其苦衷ハ、萬々吾々御察申上グルノデアリマス、併ナガラ政府ガ斯ノ如キ法案ヲ提出スルニ至リマシタ、又提出セナケレバナラヌ其態度ニ付キマシテハ、頗ル吾々ニ了解ノ出來ナイ所ガ多イノデアリマス、申上グルマデモナク、米穀統制法案ハ、我國從來ノ經濟制度ヲ根本的ニ改革致シマシテ、米穀ニ關スル限り自由主義經濟組織、資本主義ノ組織ヲ、根本カラ政府ノ權力ヲ以テ之ヲ統制シ、即チ傳統ノ我國經濟政策ヲ改メント云フ大ナル決意ガナケレバ、統制法案ハ運用出來ルモ

ノデアリマセヌ、否、若シ此決心ガ無カッタナラバ、斯ノ如キ法律案ヲ提出スルト云フコトハ、斷ジテ許スコトノ出來ナイ案デアリマス、而シテ政府ハ其決意ヲ以テ、アノ法律案ヲ作り、之ヲ實行スルコト僅カ六箇月ヲ出デルカ出デヌ間ニ、所謂米穀ノ大洪水トナツテ、今度ノ重大法案ヲ出サネバナラヌト云フコトニナツタノデアリマスガ、成程昭和八年度ハ、天候ニ惠マレタ非常ナ大豐作デアッタト云フコトハ、吾々モ固ヨリ之ヲ承認スルノデアリマスケレドモ、併ナガラ若シ政府ニ其決心ガアツタナラバ、ソレ程周章狼狽スル必要ハナカッタト信ズルノデアリマス、即チアノ米穀統制法案ヲ提出スルト云フ時ニハ、少クトモ外地米ノ内地ニ移入ト云フコトニ關シテ、如何ナル政策ヲ執ルカト云フ、十分ナル用意ガナケレバナリマセヌ、若シ此用意ガアリマシタナラバ、ソレ程周章狼狽スル必要ハナイノデアリマス、申上グル迄モナク米穀統制法案ハ、經濟自然ノ原則ヲ無視シテ、政府ノ權力ヲ以テ、米價ヲ或ル程度ニ吊上グル、或ハ或ル程度以上之上ヲ騰セシメナイト云フ、即チ國家ノ權力ヲ以テ物價ヲ左右スルト云フ法律案デアリマス、故ニ此法律ヲ實行スル以上ハ、必ずヤ米穀ノ生産ノ大獎勵ヲスルト云フコトヲ、豫メ覺悟致サネバナリマセヌ、而シテ此生産獎勵ノ法律ヲ出ス以上、最モ大ナル恩澤ヲ受ケル者ハ、申上グル迄モナク、内地ヨリハ比較的ニ生産費ノ低廉ナル外地ノ農民デアリマス、換言スレバ、米穀統制法案ヲ發布致シマシタ以上ハ、外地ニ於テ米穀ノ大生産増加ガ來ルモノデアルト云フコトハ、最初ヨリ明瞭デアルト言ハナケレバナリマセヌ(拍手)而シテ昨年度ハ、之

ニ加フルニ天候ニ惠マレテ、大生産ノ過剩トナリマシテ、今日ノヤウナ事態ヲ惹起スルニ至ツタノデアリマス、既ニ事此ニ至リマシタ以上ハ、政府ノ今回ノ、假令ソレガ臨時ノ、一時的ノ處分デアリト致シマシテモ、蓋シ現在ノ事情カラ見マスレバ、已ムヲ得ザル次第デアルト信ジマス、併ナガラ此一時的ノ、前途ニ對スル何等ノ確信ヲ持タナイ臨時ノ處分ノ爲ニ、七億圓ト云フ、アノ巨大ナ米穀特別會計ノ資金ヲ以テシテ、尙ホ不十分デアアル、更ニ四億五千萬圓モ大キナ豫算ヲ組ンデ、之ニ用意ヲシナケレバナラヌト云フニ至ツテハ、財政上實ニ由々シキ大問題デアルト言ハナケレバナリマセヌ、吾々ハ此大ナル財政ノ關係カラ考慮致シマシテ、假令是ガ一時的ノ臨時法案デアルト致シマシテモ、斯ル大ナル國民ノ負擔ヲ、其儘無條件ニ鵜呑ミニスルト云フコトハ、斷ジテ忍ビナイノデアリマス(拍手)即チ已ムヲ得ズ修正案ヲ提出シタ所以デアリマス

私ガ申上グル迄モナク、此度ノ所謂米穀對策ニ付キマシテハ、曩ニ豫算總會ニ於テ政友會ノ諸君カラ、此米穀ニ對スル政府ノ態度ヲ明ニセザル限り、豫算案ノ審議ハ出來ヌト云フ強硬ナル政府ニ對スル質問ニ答ヘテ、齋藤總理大臣ハ、豫算總會ニ於テ重大ノ聲明ヲサレタコトハ、天下國民ノ悉ク記憶ニ新ナル所デアリマス、齋藤總理大臣ハ其時ニ、私ガ其聲明ヲ朗讀致シマセヌデモ、諸君ノ御記憶ノ通り、第一ニ、所謂外地米穀ニ特別會計ヲ設ケテ、適當ナル管理ヲスルト云フコト、第二ニハ、政府所有米ノ特別處理法ヲ講ズルト云フコト、第三ニハ、米穀特別會計ノ資金ヲ増額致シマシ

テ、更ニ補強工事ヲ加ヘルト云フ、此三項ノ聲明ヲサレタノデアリマス、政友會ノ諸君竝ニ私共モ、政府ヲ代表サレタ總理大臣ノ此聲明ニ信頼ヲサレテ、諸君ハ所謂アノ重大ナ豫算案ヲ通過サセタコトハ、天下ノ齊シク認メタ所デアリマス、總理大臣ハ此聲明ニ基イテ適當ナル米穀對策ヲ、ドウシテモ議會ニ提案サレナケレバナラヌト云フ羽目ニナリマシテ、御承知ノ通り所謂五相會議ヲ内閣ノ中ニ開イタ、一箇月ニ餘ツテ、所謂此提案ヲ練リニ練ツタ揚句、先ノ聲明ヲ裏切ツテ、即チ第一項ノ聲明中ノ眼目トモ云フベキ、臺灣朝鮮ニ於ケル特別會計ヲ全ク拋棄サレタ、即チ骨抜同様に提案ヲ以テ、此度議會ニ臨マレタノデアリマス、即チ此骨拔案ニ對シテ、委員會ニ於テ、只今委員長ノ報告ニアリマシタ通り、第一、外地米ノ統制移入ノ制限ト云フコトニ對シテ、痛烈ナル質問ガ政友兩黨ノ諸君ヨリ發セラレタコトハ、是ハ尤至極ノコトデアルト、私共ハ拜聽シタノデアリマス、第二ノ生産制限ニ關聯致シマシテモ、政府ニ何等ノ用意ガナイデハナイカト云フ此質問モ、亦當然ノ御質問デアッタト拜聽致シタノデアリマス、即チ政府ハ何トシテモ、政府自己ノ聲明ニ基キマシテモ、亦米穀對策ト致シマシテモ、外地米ニ關スル相當ノ提案ガナケレバナラヌ答デアッタノニモ拘ラズ、自ラ其聲明ヲ裏切り、骨抜同様に案ヲ以テ議會ニ臨マレタト云フ所ニ、議會滿腔ノ不滿ガ現レタノハ、是レ當然ノ結論デアリマス(拍手)私ハ總理大臣ニ御尋致シタイ、何故政府ハ政府自ラノ聲明ヲ裏切ラナケレバナラヌヤウナ状態ニナツタノデアリマスルカ、是ハ申上グル迄モナク、極メテ簡單明

際デアル、政府ニ斷ノ一字ヲ缺イテ居ルト云フコトニ歸著スルノデアル、先程申シテ通り、米穀統制案ヲ眞ニ實行シヨウト云フ決意ガナカッタラバ、國家ノ權力ヲ以テ斷乎タル決意ガナカッタラバ、此重大ナル法律案ヲ實行スルコトノ出來ナイコトハ言フマデモナイ、而シテ此法案ヲ實行シヨウト云フ時ニハ、外地米ノ統制ト云フ事ヨリ外ニ名案ガナイト云フコトハ、政府自ラ認メテ、而シテ其重大ナ聲明ヲシタノデアル、然ルニ情テ之ヲ實行シヨウト云フ時ニ當テハ、外地官憲ノ反對ニ遭ウテ、斯ノ如キ是レ齊シク日本帝國ノ國民ヂヤナイカ、ソレニ對シテソナ差別待遇ノヤウナ事ヲヤツテ、ドウシテ外地ノ統治ガ出來ルカ、一視同仁ノ政ヲトウスルカト云フ、一部官憲ノ反對ニ遭ウテ、總理大臣ノ腰ガ碎ケテシマツト云フコトガ、此不徹底極マル状態ニナツタ次第デアリマス(拍手)

政民兩黨ノ諸君ニ於カレマシテモ、此問題ノ解決ハ、我黨ノ修正案ヨリ外ニ名案ハナイト云フコトハ、既ニ先程ノ委員長ノ報告ニ依リマシテモ、亦委員會ニ於ケル質疑應答ノ形勢カラ見マシテモ、明瞭ニ看取スルコトガ出來テ居ルノニモ拘ラズ、諸君ハ此度所謂附帶決議ヲ附シテ、之ヲ通過セシメヨウト言フ、私ハアノ兩大政黨諸君ノ其心事ニ對シテ、甚ダ疑ナキヲ得ナイノデアリマス(拍手) 諸君ハ諸君ノ要求ニ依ッテ、豫算總會ニ於テ總理ニ其聲明ヲサセ、其聲明ト交換條件トハ申シマセヌガ、交換條件同様ノ意味ニ於テ豫算案ヲ通過サセテ、而シテ諸君ヲ欺イテ、政府自ラ自己ノ聲明ヲ裏切り、即チ天下國民ヲ欺イテ、サウシテ今日斯ノ如キ不徹底極マル法案ヲ出

シテ、ソレニ對シテ附帶決議トハ何事デアリマス(拍手) 諸君ハ何故ニ敢然ト所信ニ邁進スル所ノ決斷ト勇氣ヲ御持チニナラナイノデアリマス(拍手) サナキダニ今日議會ノ信用ハ疑ハレ、所謂政黨不信ノ聲天下ニ滿チテ居ル時ニ、斯ノ如キ態度ヲ執ラレルト云フコトソレ自身ガ、即チ議會ノ權威ヲ自ラ傷ケ、政黨ノ信用ヲ失墜セシメル所以デアルト云フコトニ、御氣付ニナラナイノデアリマスルカ、私ハ國家ノ爲メ實ニ慨嘆ノ至リニ堪ヘマセヌ(拍手)

更ニ特ニ政府ニ一言御警告ヲ申上ゲナケレバナラヌ事ガアルノデアリマス、ソレハ過日委員會ニ於テ總理大臣ニモ質問ヲ申上ゲ、更ニ今後ノ調査會ニ於ケル態度ニ付テ御警告ヲ申上ゲテ置イタ一點デアリマスルガ、此度政府ガ御提案ニナリマシタ此案ハ、先程申上ゲタ所謂一視同仁ノ政治ヲ爲サンガ爲ニ、却テ一視同仁ヲ裏切ルコト、最モ甚シイ結論ニ至ッテ居ルト云フコトヲ知ラナケレバナリマセヌ、此政府ノ御提案ニナリマシタ法案ヲ實行スルコトニ依ッテ、日本國民ハ既ニ米穀特別會計ニ於ケル七億万円、之ニ此度ノ法案ニ依ッテ四億五千萬円ト云フ、合計十一億五千萬円ト云フ、此大キナ金ヲ溝ニ抛リ込ムト同様ノ結論ニ至ルト云フコトハ、火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、此大ナル所謂米穀關係ノ損耗、是ハ廳テ特別會計ニ轉嫁サレ、日本國民ノ負擔トナラナケレバナラヌ運命ニ置カレテ居ルノデアリマスルガ、此負擔ハ一體誰ガスルノカ、朝鮮臺灣ノ、此政府ノ米穀買上ニ依ッテ、多大ノ利益ヲ受ケル外地ノ農民ハ、一文ダツテ其負擔ヲスルノデアリマセヌ、其負擔ハ全部舉ゲテ吾々内地國民ノ負擔トナ

リ、日本農民ハ其負擔ヲ免レルコトハ出來マセヌ、換言スレバ此大ナル國民ノ負擔ハ、内地農民ノ負擔ニ於テ外地農民ヲ救済スルト云フ、矛盾極マツタ法案トナツテ現レタト云フコトヲ考ヘナケレバナリマセヌ、吾々ハ國民ノ代表トシテ、此不徹底極マル、而シテ斯ノ如キ差別待遇ヲ含ンダ、此政府案ニ斷ジテ贊成スルコトハ出來マセヌ、是レ我黨ノ修正案ヲ提出致シマシタ理由デアリマス、ドウゾ滿堂諸君ノ御贊同ヲ得マシテ、此修正案ノ通過スルコトヲ切望致シテ置キマス(拍手)

議長(秋田清君) 東武君

(東武君登壇)

○東武君 時間モ段々切迫致シマスノデ、極ク肝要ノ點ダケヲ申上ゲテ、委員長報告ニ贊成ノ意見ヲ述ベタイト考ヘマス
第一ニ、本案ハ朝鮮及ビ臺灣米ノ内地移入ニ關シ、昭和十年三月三十一日迄、朝鮮臺灣米ノ買上ヲ行フト云フ、是ガ即チ一時的米穀事情ニ鑑ミテ、政府ハ臨時便法ヲ茲ニ作成シテ、協贊ヲ求メラレタ案ト思ヒマス、サウシテ法案ノ第二ノ骨子ハ、需給特別會計法ヲ改正致シマシテ、法文第四條ノ米穀資金七億万円ヲ八億五千萬円ニ増加スルト云フコト、第三ノ骨子ハ、政府ハ當分ノ内必要アリト認メル時ハ、米穀證券及ビ借入金ノ額ヲ、最高三億圓ヲ委任立法ノ形式ニ於テ、政府ニ北權限ヲ委ネヨウト云フ案デアリマス、此案ハ委員長ノ報告ノ通り、只今小山君ノ御演說ノ通り、極メテ重大ナ案ト考ヘテ居リマス、故ニ私共ハ此案ニ贊成ヲスルト云フコトニ付テハ、十分ノ理由ガアルノデアリマス、何故ナラバ只今

〔發言スル者多シ〕

議長(秋田清君) 譚肅ニ

○東武君(續) 小山君ノ御演說ニモアツタ通りデアリマスガ、移入ヲ制限スルト云フコトハ、成程論理的ハ論理的デアアルヤウデアリマスケレドモ、是ハヤハリ一時便法ニナルノデアリマス、此法案ハ十年ノ三月三十一日迄ト云フ期限ヲ限ラレテ、サウシテ此過剩ノ朝鮮米、臺灣米ヲ買上ゲル、斯ウ云フ便法デアアルノデアリマスルガ、假ニ勅令ニ依ッテ移入ヲ制限スルト致シマシテモ、朝鮮ト臺灣ノ米ハ買ハナケレバナラズ、又米穀年度ノ來年度ニ至リマスレバ、本年ノヤウナ豐作ノアツタ場合ニハ同ジ狀況ヲ來ス、是ハ即チ一時的、昭和十年ノ三月三十一日迄ト云フコトノ立法ニナツテ居ルノデアリマスガ、若シ小山君ノ說ノ如ク修正ヲシテ、移入ヲ制限スルト云フコトニシテモ、事實ニ於テハ帝國内ニ於ケル過剩米ト云フモノハ、ヨリ以上ニ殺到スルト云フコトハ、極メテ明瞭ナコトデアアル、然ラバ之ヲ二年延バシ、三年延バシテ移入ヲ制限シテモ、何等根本政策ニハ觸レナイト云フ、ソコニ缺點ガアルノデアリマス、故ニ吾々ハ此案ニ對シテハ、十分ナル根本政策ニ觸レテ居ルモノトハ考ヘマセヌケレドモ、一時的便法トシテ洵ニ已ムヲ得ナイモノガアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又政府ニ於キマシテハ、豫算案ヲ通過スル時、日ニチハ志レマシタガ、多分二月十四日デアツタト存ジマスルガ、總理大臣ハ豫算通過ノ際ニ、此米穀問題ハ刻下重要ナ問題デアアル、我國ノ國防ト同様ニ、内政的ニ於テハ非常ナ重大ナ問題デアアルカラ、是等ニ對シテ何等カノ對策ヲ講ズルノデアアルカト云フ、特ニ政友會ヲ代表致シテ、吾ガ同僚砂

〔發言スル者多シ〕

田重政君ヨリ質問ヲ致シマシク、總理ハ之ニ對シテ二ツノ聲明ヲ致シタノデアリマスルガ、第一ハ、米穀問題トシテ外地米ノ移入ヲ調節スルコト、第二ハ、右米穀ノ移入調節ノ爲メ朝鮮及ビ臺灣ニ各特別會計ヲ設置スル、此事ヲ天下ニ聲明ヲ致シタ次第デアリマス、然ルニ右ノ聲明ガアツテ以來、吾々ハ此齋藤總理ノ聲明ニ信賴ヲ致シテ、必ズ根本的、徹底的ノ成案ガ、近ク提案サレルモノト期待致シタノデアリマシタガ、會期三分ノ二ヲ經過スル今日ニ於テ、突如トシテ今回ノ提案ヲ爲サレタノデアリマス、之ニ對シマシテハ内閣ハ非常ナ重大ナ責任ガアルト思フノデス、移入ヲ適當ニ調節シテ、根本策ヲ樹テルト言ヒナガラ、特別會計ヲ朝鮮、臺灣ニ設ケルト云フコトハ全然裏切ラレテ、唯金ダケデ、餘クモノヲ已ムヲ得ズシテ買フト云フ跋ノ案ガ、茲ニ提出サレタノデアリマスガ、世間ニ申ス羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルト云フ言葉ガアリマスガ、眞ニ羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ツクニ類スルモノト思フノデアリマス、然ルニ吾々ガ本案ヲ徹底的ニ修正ヲ爲スト云フコトニナレバ、是ハ本院ノ權限ニ於テ、御五ニ如何ナル法案ヲ作成スルコトモ、或ハ出來ナイコトハナイト考ヘルノデアリマスガ、併シ此根本政策ヲ樹ツルト云フコトハ、外地ト内地ヲ通ジテ、一種ノ生産的制限ヲスルニ非ズンバ、此痛腫ヲ除去スルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマス、然ラバ之ニ豫算ガ伴ハナケレバ、茲ニ幾ラ法文ニ書イテ、一時的ニ朝鮮カラ入ル米ヲ驅逐スルトシテモ、朝鮮ガ非常ニ困ル、困レバ政府ガ買フト云フ、此買フト云フコトハ、已ムヲ得ナイコトニナルノデアリマスカラシテ、寧ロ此修

正ヲシテモ、修正案ハ極メテ不徹底ノモノガ出來上ルノデアアル、豫算ノ伴ハナイ、根本策ニ觸レナイモノヲ、此法文ニ徒ニヤツテモ、純理ヲ以テ進メバ、理想ヲ説クノナラバ宜シイケレドモ、吾々ハ實際政治ヲヤツテ居ル、現實政治ニ當ッテ行カナケレバナラヌノデアリマスガ、本案ノ重大性質ニ鑑ミテ、若シ是ガ廢棄ヲスル、廢棄ニナルト云フコトニナレバ、政府モ重大ノ責任ガアルト同時ニ、我方國家ノ農業界、農村ノ現在ニ於テモ、非常ナ行詰マテ居ル狀況ニ、更ニ今回統制法ガ威力ヲ失シテ、米價ノ狀況ノ見据ガ付カスト云フヤウナコトニナツタナラバ、此不安ト此影響ハ極メテ重大ナモノガアルト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)故ニ今回ノ提案ハ、吾々ハ衷心カラ甚ダ遺憾デアアル、遺憾千萬デアルケレドモ、已ムヲ得ズ之ニ贊成シナケレバナラヌ點ガ一ツデアリマス

次ニ此臨時三億圓ノ權限擴張ヲ、委任立法ニ依ッテ政府ニ委ネルト云フコトハ、議院ノ審議權ヲ縮小致シマシテ、甚ダ是モ前例ノナイ、面白クナイ案デアリマスガ、段々之ヲ政府ニ質シテ見マスルト云フト、若モ此米穀事情ニ依ッテ一億五千萬圓ダケナラバ、今後朝鮮、臺灣、内地ヲ通ジテ、五月一日以後七百萬石ノ米ヲ買ハナケレバナラヌ、併シ是ハ十年度ノ米穀事情ト合セテ七百萬石ノ米ヲ買フノデアアル、サウスルト七百萬石買ヘバ、一億五千萬圓ト云フモノハ消エテシマウ、今殘ッテ居ル金ガ幾ラアルカト云ヘバ、九千三百万圓、之ニ依ッテ有ユル利子ト、現在ノ手持ノ米ト、是等ノモノヲ計算シテ行クト云フト、此現在ノ七億圓ノ餘力ト云フモノハ殆ドナイ、僅カシカナイ、サウシテ

此全院ヲ通ジテノ希望デアアル所ノ、外地ノ過剩米ヲ吸收ル方法ヲ講ゼヨト云フノデアアルガ、之ヲ講ズレバ一億五千万ノ金ハ無クナツテ、茲ニ三億圓ト云フモノハ、豫備金ノ形デアリマスガ、實ハ國庫ノ義務契約ニ屬スル、國庫負擔ノ、アノ契約ト同様ノ趣意ニ於テ、大藏省ニ於テハ此袋ヲ握ッテ居ッテ、必要ガアツタ場合ニ、來年度ガ非常ナ大豐作デアツタ場合ニハ、此金ヲ使ッテ、一時三月三十一日迄ヲ彌縫シテ、此對策ヲ講ズルト云フ臨時ノ豫備費トシテ之ヲ取ツテアル、サウシテ之ヲ農林大臣ガ勝手ニ使フ「ルーズ」ニ使フト云フ意味デナイト云フコトヲ、ハッキリ致シテ居ル、是ハ所謂傳家ノ寶刀トシテ、米穀統制ノ威力ヲ具ヘル爲ニ備ヘタ所ノ、是モ一ツノ臨時立法デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、而シテ斯様ナ政府ノ趣意ニ依リ、吾々ガ此本案ヲ縱橫ニ審議シテ結果ト致シマシテ、如何ニモ重大デアアル、重大デアアルガ、政府ハ斯様ナコトヲ流レ渡リニヤルト云フコトハ、既ニ豫算總會ニ於テ聲明ヲ裏切ツテ居ル、吾々ガ信賴シテ居ルニ拘ラズ、裏切ツテ、邁々トシテ會期切迫ノ、三分ノ二ヲ經過シタル今日ニ出スト云フヤウナコトハ、洵ニ不誠意極マルモノデアアル、故ニ此根本策ヲ樹ツルト唯言ハレタノミデハ、吾々ハ信賴ハ出來ナイ、同時ニ又來ルベキ十年度ニ於テ、ドウ云フ天候ノ關係デ豐作ニ惠マレルカモ分ラナイ、サウ云フ場合ニハ、一層我方米穀事情ト云フモノハ、行詰マテ來ルノデアリマスカラシテ、若シ政府ガ眞ニ誠意ガアルナラバ、臨時議會ヲ開イテ、サウシテ此根本策ヲ樹ツルト云フコトハ、國防ト同様ニ重大ナ意味ガアルト云フノデ、本院ハ此希望決議ヲ致シタノデアリ

マス(拍手)而シテ又此理由ニ依ッテ、吾々ハ政府ヲ信賴シテ、必ズ根本政策ヲ樹ツルモノト信ジテ居ル、又齋藤總理モ屢ノ聲明ト言明ニ依リマシテ、誠意ノ認ムベキモノガアルト考ヘマス、若モ此誠意ヲ裏切ルト云フコトニナルナラバ、齋藤内閣ハ極メテ重大ナル責任ヲ取ラナケレバナラヌト云フコトハ、茲ニ豫メ申上ゲテ置ク次第デアリマス(拍手)

而シテ尙ホモウ一言附加ヘテ申上ゲタイコトハ、本院ニ於テ、此全國三千万ノ農民ノ實生活ノ利害休戚ニ關係ナル、此大問題——法案ヲ審議スルニ當リマシテ、從來ノ有ユル感情ヲ抛ッテ、總テノ政策、總テノ感情ヲ超越シテ、政民兩黨トモ、殆ド舉國一致ノ精神ヲ以テ、政黨政派ヲ超越シテ、此議院全院ノ決議トモアルベギ所ノ、此決議案ニ對シテハ、恐ラク齋藤總理モ之ヲ裏切ルト云フコトハ斷ジテナイト云フコトヲ、私ハ斷言シテ置ク者デアリマス(拍手)故ニ私ハ此政府ノ誠意ヲ信ジ、臨時議會ヲ要求ヲ致シマシテ、サウシテ來ルベキ米穀年度、即チ十月内外マデニ成案ヲ立テマシテ、サウシテ我國ノ極メテ重大ナル、此行詰ツタ米穀事情ノ解決ヲスルコトニ、邁進スルト云フコトヲ信ジテ、本案ニ贊成ヲシ、同時ニ委員長ノ報告ニ贊成ヲスル所以デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 川崎克君
○川崎克君 川崎克君
○川崎克君 川崎克君
○川崎克君 川崎克君

○川崎克君 川崎克君
○川崎克君 川崎克君
○川崎克君 川崎克君
○川崎克君 川崎克君

小山君ノ修正ニナリマシタ案ニ對シマシテハ、遺憾ナガラ御同意ヲ申兼ネルノデアリマス、其所以ハ此米穀法ヲ根本トシ、之ヲ基本トシテノ區々タル修正案ヲ提出致スガ如キコトデハ、此米穀問題ノ根本ヲ解決スルコトノ出來ナイコトヲ、私ハ信ズルカラデアリマス（拍手）私ハ斯様ナ意味ニ於テ、本案ハ認メマスケレドモ、本案ヲ認メル所ニ以テ、臨時議會ヲ召集シテ、成ダケ本案ノ實行ヲ阻止スル意味ニ於テ本案ヲ認メルノデアリマシテ、本案ヲシテ成ダケ實行セシメナイ意味ニ於テ、本年ノ端境期マデニ少クトモ對案ガ出來マスナラバ、幾分カ此法律案ノ實行ヲ阻止スルコトガ出來ルト云フ意味ニ於テ、其重大ナル意味ニ於テノ附帶決議ヲ私共ハ贊成致スノデアリマス

楮テ之ニ對シマスル私共ノ、ドウシテモ臨時議會ヲ開カケレバナラナイト云フ理由ハ、一ツハ財政經濟上ノ建前カラデアリ、又一ツハ米穀對策ノ點カラ見マシテ、極メテ重要ナル關係ガアルト云フコトニ論據ヲ置イテ居ルノデアリマス、一體此米穀ノ買入資金ノ調達方法ト云フモノハ、諸君モ御承知ノ通り、一時ハ年度ヲ限リテ米穀證券ニ依ッテ借入ラスルノデアリマスガ、短期證券ノ發行ヲ致シテ、或ハ三箇月、或ハ六箇月ト云フガ如キ、短期證券ノ發行ヲ致シテ、或ハ之ヲ日本銀行ニ引受けシメ、或ハ民間ニ於テ之ヲ引受けルノデアリマスガ、此法案ヲ假ニ實施ヲ致ストスルナラバ、茲ニ四億五千萬圓ノ短期證券ヲ發行シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、吾々ハ一般會計及ビ特別會計ニ於テ、本年度ノ豫算ニ協賛ヲ與フル場合ニ於テ、十億六千萬圓ト云フ所ノ公債ノ發行ヲ認メナケレバナラ

又狀態ニ在ルノデアリマス、此十億六千萬圓ノ中ニ、交付公債ハ僅ニ六千萬圓デ、約十億ノ公債ヲ發行スルノデアリマスガ、ソレハ大部分一時ハ日本銀行引受トナルノデアリ、日本銀行ノ引受トナツテ、通貨膨脹ノ虞ガアルカラシテ、之ヲ民間ニ買ハシメルノデアリマスケレドモ、此處ハ持ッテ來テ、茲ニ四億五千萬圓ノ米穀證券ノ發行ヲ見ルト云フコトニナリマシタナラバ、此證券ヲ消化スル方面ハ何處デアアルカト云ヘバ、引受ハ日本銀行カ民間カ、ドチラカデナケレバナラヌガ、之ヲ悉ク日本銀行ニ於テ引受ケルト云フコトニナルナラバ、通貨膨脹ハ避ケザラント欲スルモ能ハナイ狀態ニ置カル、ノデアツテ、經濟上ノ洵ニ山々シキ一大事デアアルト言ハナケレバナラヌノデアリマス（拍手）此點ニ付テハ私共ハ、斯様ナ短期證券ノ發行ヲ認メナケレバナラヌト云フコトハ、經濟上ノ建前カラシテ、是ダケハ成タケ避ケタイ、之ヲ避ケル方法ハドウスレバ宜イカト言ヘバ、臨時議會ヲ開イテ、斯様ナ資金ノ要ラナイヤウニスルコトガ一番大切ナ要點デアアルト、私共ハ斯様ニ思フノデアリマス、又此證券ハ年度ガ終リマスレバ、或ハ預金部ニ於テ引受けラレルコトニナルデアリマセウガ、トノ詰リハ何處ニ行クノデアアルカト言ヘバ、最後ハ一般會計デ何トカ始末ヲ付ケナケレバナラヌコトニナル、一般會計ニ於テ始末ヲ付ケナケレバナラヌト云フコトニナルレバ、公債ノ發行ハ免レナイコトデアリ、是ガ國民負擔トナツテ、ドウシテモ吾々ハ耐ユベカラザル負擔ヲ負ハナケレバナラヌコトニナルノデアリマスカラ、此點ニ付テモ、是ハ又非常ニ重大ナル意義ヲ有ッテ居ル、現内閣ハ、本年ノ

豫算ノ編成ニ當ツテ、成タケ經費ヲ節約スルト云フ建前カラシテ、現ニ農林省ノ所管ノ豫算ニ致シマシモ、昨年度ト比較致シマシテ、三千六百有餘萬圓ト云フモノハ、臨時ニ於テ、匡救事業ニ於テ割ッテ居ル、是ダケノ節約ヲシテ居ル、然ルニ茲ニ四億五千萬圓ノ特別會計ニ於ケル所ノ、斯ウ云フ借入金ヲ認メルト云フコトニナツテ、赤字公債ノ増發ヲ助長スルコトニナリ、他日ハ一般會計ニ累ヲ及ボス基トナルト云フガ如キ事ヲ爲サルコトハ、洵ニ矛盾シタ政策デアアル思フノデアツテ、是ハドウシテモ今日避ケラレナイモノデアラウケレドモ、吾々ハ避ケテ賞ヒタイ、避ケテ賞ヒタイト云フ意味ニ於テハ、臨時議會ヲ開イテ、斯様ナ費用ノ要ラナイヤウニ、政府ニ於テ生産制限ヲヤルナリ、其他ノ方法ニ依ッテ、之ヲ調節スルコトガ必要デアアルト云フノガ、私共ノ財政上ドウシテモ臨時議會ヲ開カケレバナラナイト云フ理由ノ第二點デアリマス

第三ニハ實際此法案ニ依ッテ、此儘米穀法ノ運用ニ依ッテ參リマスナラバ、ドウ云フ結果ガ來ルカト申シマスルト、今日政府ノ貯藏米ガ、農林省ノ報告ニ依リマシテモ千二百七十九萬石ト言ッテ居ルノデアリマスガ、約千三百萬石デアアル、其上ヘ以テ來テ、今度ノ買入ヲシマスル米ノ高ハ幾ラカト申セバ、朝鮮臺灣米ハ七百萬石、ソレカラ内地米ガ千六百萬石ト云フコトニナルノデアリマシテ、此法律實行ノ結果ハ、茲ニ三千有餘萬石ノ米ヲ買入レルノデアリマス、三千有餘萬石ノ米ヲ買入レルノデアリマスル上ニ、臨時議會モ開カズニ通常議會マデ之ヲ引ズツテ參リマシタ場合ニハ、愈、通常議會ニ於テ根本對策ガ假

ニ立テラレタト致シマシテモ、昭和十年度ノ米ノ作付及ビ肥料ヲ施シタ程度カラ考ヘテ、モウ生産制限ナント云フコトハ出來ナイ狀態ニアツテ、昭和十年度ノ産米ハ本年ノヤウナ増産ヲ見ルト云フコトヲ假定シマスルナラバ、約四千四百萬石ノ米ノ買入ヲ三年間通ジテ行ハナケレバナラヌト云フヤウナ狀態ニ立到ルコトハ、推算上明ナル結論デアアルト言ハナケレバナラヌノデアリマシテ、此點ニ付テハ吾々ハドウシテモ米穀對策上臨時議會ヲ急イデ開カケレバナラヌト云フ理由アル所以デアリマス

第四ノ理由ハ愈、斯ノ如ク致シマシテ、米ノ買入ヲ爲シマシタ結果ガ、實際是ハ日本ノ現在ノ倉庫ニ於テ、是ガ收容力ガアルカ否カト云フコトニナリマスルト云フト、是ハ非常ニ疑ガアル、現ニ都會ト云フ都會ハ、今日ハ米ガ倉庫ニ充滿致シテ居ルコトハ皆サンモ御承知ノ通りデアリ、朝鮮臺灣ニ於テ、米ノ貯藏力ノナイコトモ明デアリ、此上ヘ持ッテ來テ、本年千七八百萬石ノ米ヲ貯藏スルト云フコトニナリマシタ時ニハ、ドレダケノ倉庫ガ要ルカト言ヘバ、追加豫算ニ倉庫ノ要求ヲ致シテ居リマスガ、一坪當リ四十石シカ米ガ貯藏出來ナイト云フ計算ニナツテ居ルノデアリマスルカラ今日此千八百萬石ノ米ヲ貯藏致サウトスルナラバ、四十五萬坪ノ倉庫ガ建設セラレナケレバ出來ナイノデアツテ、斯様ナコトハ此法案ニ依ッテ實行不可能ナルモノデアアルト謂ハナケレバナラヌノデアリマスルカラ、何レノ點カラ考ヘマシテモ、臨時議會ヲ召集シテ、是等經濟上、米穀對策上ノ諸事情ヲ、成タケ根本的ニ除去シテ行ク、根本的ニ除去シテ行クノニハ、現在ノ米穀法

ニ依ラナイデ、彈力アル所ノ需給對策ヲ講
ジテ、サウシテ米ノ根本問題ヲ解決スルコ
トガ必要デアルト云フノガ、吾々ノ附帶決
議ヲ致シテ居ル重要ナル點デアアルノデアリ
マス、此點ニ基キマシテ、此議場ノ空氣ヲ
見マシテモ、大多數御賛成ガアツテ、是ハ殆
ド院議ノ形——院議トナリマシタ以上ハ、
政府ニ於テドウシテモ此重大ナル院議ヲ尊
重シテ、必ズ臨時議會ヲ開カナケレバナラ
ヌ〔簡單〕ト呼フ者アリ〔臨時議會ヲ開ク手
段トシテハ、審議會ヲ開イテ、臨時議會ニ
急イデ提案ラシテ、米穀對策ノ根本ヲ立テ
ル所ノ責任ハ政府ニ在リト私共ハ信ズルノ
デアリマス〔拍手〕此意味ニ於キマシテ、ド
ウカ齋藤内閣ハ吾々ノ要求ヲ容レテ、此重
大ナル所ノ米穀對策ニ善處スベク急イデ審
議會ヲ開キ、其成案ヲ得ルコトニ努メ、臨
時議會ヲ召集シテ、對案ヲ提出セラレンコ
トヲ希望シテ本案ニ賛成ヲ致スノデアリマ
ス〔拍手〕

○議長(秋田清君) 討論終局——採決致シ
マス、先ヅ臨時米穀移入調節法案ニ對スル
小山谷藏君外一名提出ノ修正案ニ付キ採決
致シマス——小山君外一名提出ノ修正案ニ
賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕
○議長(秋田清君) 起立少數——修正案ハ
否決サレマシタ——次ニ臨時米穀移入調節
法案ノ委員長報告ニ付キ採決致シマス、本
案ノ委員長報告ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メ
マス

〔贊成者起立〕
○議長(秋田清君) 起立多數——本案ハ委
員長報告ノ通り可決致シマシタ〔拍手〕——
次ニ政府所有米穀特別處理法案及ヒ米穀需
給調節特別會計法中改正法律案ノ兩案ハ、
委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ右兩案ハ委員長報告ノ通り決シマ
シタ——是ニテ三案ノ第二讀會ハ終了致シ
マシタ

○青木雷三郎君 直チニ三案ノ第三讀會ヲ
開カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——明二十三

給調節特別會計法中改正法律案ノ兩案ハ、
委員長報告通り御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ右兩案ハ委員長報告ノ通り決シマ
シタ——是ニテ三案ノ第二讀會ハ終了致シ
マシタ

○青木雷三郎君 直チニ三案ノ第三讀會ヲ
開カレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 青木君ノ動議ニ御異議
アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直チニ三案ノ第三讀會ヲ開キ、議
案全部ヲ議題ト致シマス

臨時米穀移入調節法案 第三讀會
政府所有米穀特別處理法案 第三讀會
米穀需給調節特別會計法中改正法律案 第三讀會

○議長(秋田清君) 別ニ御發議モアリマセ
ヌ、三案ハ第二讀會議決ノ通り議決スルニ
御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマ
ス、三案ハ第二讀會議決ノ通り確定致シマ
シタ〔拍手〕

日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程
ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニ
テ散會
午後七時二分散會

衆議院議事速記第二十四號中正誤
頁 段 行 課 正
六二九 四 三二 十五年 十年

衆議院議事速記第二十六號中正誤
頁 段 行 課 正
七二七 三 一〇 銀行買入 銀行金買入
七二九 二 一〇 一千有餘 五千有餘
七三二 二 一〇 開會中 閉會中
七四一 四 四 二呼フ 二呼フ

衆議院議事速記第二十七號 臨時米穀移入調節法案外二件 第三讀會

